



自分と仕事をイノベーションし、人生を飛躍させるビジネススクール

学長メッセージ

100歳人生に耐える"知の再武装"を!



多摩大学学長 寺島 実郎

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を歴任し、現在、一般財団法人日本総合研究所会長のほか、文部科学省 日中韓大学間交流・連携推進会議委員、同省 グローバル人材育成推進事業プログラム委員会委員、同省 大学事業プログラム委員会委員、同省 大学事業プログラム委員会委員、経済産業省 資源工本 政策分科会委員、国土交通省 国土審議会計画推進部会委員、スーパー・メガリージョン構想検討会委員等兼任。

1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田 大学名誉博士学位。近著に、『ジェロントロ ジー宣言 「知の再武装」で100歳人生を生 き抜く』(NHK出版新書)、『(寺島実郎監 修)全47都道府県幸福度ランキング2018年 版』(東洋経済新報社)、『ひとはなぜ戦争を するのか 脳力のレッスン V 』(岩波書店)、 『ユニオンジャックの矢 大英帝国のネッ トワーク戦略』(NHK出版)、。その他に、主 な書著は、『寺島実郎 中東・エネルギー・地 政学―全体知への体験的接近』(東洋経済 新報社)、『二十世紀と格闘した先人たち一 一九〇〇年 アジア・アメリカの興降』(新潮 社)、『新・観光立国論― モノづくり国家を超 えて』(NHK出版)、『何のために働くのか― 自分を創る生き方」(文春新書)、他多数。

社会人大学院としてMBAコースを開設以来25年超、多摩大学大学院は850名を超す有為な人材を世に送り出し、すでに当該分野で中核的な地位を占める人材も多く、社会に対し一定の役割を果たしていることを喜んでいます。

それは、実際に企業経営の現場に立ってきた経験豊富な教授陣による実践指導の成果であると自負しております。

私自身は、第一次石油危機の起きた1973 年に三井物産に入社し、以来36年間、経営情報と企画を担当してきましたが、私自身の人生を変えることになったイランにおける石油化学プロジェクト (IJPC) には思い出深いものがあります。1979 年にイラン革命、翌年にイラン・イラク戦争が勃発、このプロジェクトは今でもハーバードビジネススクールの MBA コースで、カントリーリスクを学ぶ際のケーススタディとして必ず登場します。

当時の私はイスラエルのテルアビブ大学、ロンドンの国際戦略研究所、ワシントンのブルッキングス研究所などを行き来し、ホメイニ政権下でいかにこのプロジェクトを乗り越えるかという課題に専心していました。結果として三井グループは大きな教訓を残してこのプロジェクトからの撤退を余儀なくされたのですが、このプロセスにおいて「課題解決型の企業経営」の重要性を思い知らされました。

本大学院の果たすべきこれからの役割を考えるとき、世界潮流の変化に目を向けないわけにはいきません。その一つは、アジアダイナミズムであり、もう一つが、ビッグデータ・AI時代の到来です。ビジネスの世界に身を置く諸氏の中には、このことを実感されている方も多いことでしょう。

多摩大学大学院は、MBAをベースとして困難な課題に立ち向かっていく力を持った人間を生み出し、さらに専門性の高い分野として、デジタル経営、医療、金融、NPO・NGO、観光・ホスピタリティ、ルール形成戦略、社会的投資などの専門を身につけることができます。

本学の教授陣は現実との対峙から得られた貴重な経験を実際に役に立つ形に体系化し、マネジメントの本質を追究しています。新しいプロジェクトに参画する情熱を持った社会人たちと相まみえることに期待を膨らませています。

100歳人生を生き抜くには、人生のどこかの段階で改めて自分と向き合い、自分に必要な知とは何かを問いかけることが必要になります。これからは、新しい 先端的な研究の成果を吸収する「知の再武装」が必要になります。

あなたも多摩大学大学院で"知の再武装"を試みませんか。知の武装なしに、 異次元の高齢化を迎えるこれからの時代を主体的に生き抜くことは困難です。 研究科長メッセージ

人生を変え、未来を変える実践知を備えたリーダーへ



多摩大学大学院 研究科長 河野 龍太

博報堂、博報堂ブランドコンサルティング、IT ベンチャー数社の経営参画を経て、イノベーション&マーケティングの戦略コンサルティング会社、(株)インサイトリンクを設立、代表取締役社長。世界で最も影響力のある経営思想家を選ぶThinkers50 (2015)にも選出されたイノベーション戦略の代表的指導者アレックス・オスターワルダー氏がCEOを務めるStrategyzerの日本人唯一の公認トレーナーとして、国内外企業の戦略プロジェクトや人材トレーニングを多数支援。早稲田大学法学部卒業。英国ウォーリック大学経営大学院でMBA取得。長崎市出身。

数あるビジネススクールの中で多摩大学大学院にご関心を寄せていただき感謝 いたします。本学が他のビジネススクールと何が違うかについてお話します。

第一に、経営の「実践知」に徹底的にこだわっていることです。世界の先行きは不透明さを増し、企業は多くの難題に囲まれています。現代のビジネス・リーダーに必要なのは、経営を学問とする世界のみで意味をもつ洗練された思考や知識ではなく、企業が現実に直面する複雑な問題を解決し、インパクトのある結果を出せる戦略思考力であり、それを可能にする実践的セオリーや経営の本質を捉えた深い知恵でしょう。本学では、各分野における卓越した実務家講師陣を多数揃え、経営の現場で試され鍛えられた選りすぐりの実践知を現代経営の広範な分野にわたって学べます。

また、世界的な経営学者である野中郁次郎先生と本学の徳岡晃一郎教授(前研究科長)とが考案した「イノベーターシップ」という独自コンセプトのもと、イノベーション経営に強みをもつビジネススクールという点も本学の特長です。世界のMBAプログラムで教えられているオーソドックスな知識を学べるのはもちろん、本学が代表的な専門家を擁しリードする知識創造論、デザイン思考、ビジネスモデル、ルール形成戦略など、イノベーション経営の実践に役立つ知がどこよりも多彩で充実していると自負します。

地球環境や格差問題など経済的価値と社会的価値とのコンフリクトが増大していますが、自社だけがうまくいけばそれでよいはずがありません。自社の利得を超えた高次の目的を構想し、社会とその未来にとって正しい選択をする思慮分別と志の高さが、これからのリーダーには不可欠です。本学では、広い視野と深い洞察をもって、自社と社会に対して責任ある判断をし果敢に行動する賢慮なリーダーの育成に力を注いできました。皆さんにとって、これからの世界、日本で活躍する上で必須となる見識と新次元のリーダーシップを磨く場になると信じます。

最後に強調したいのが、卓越した実績、経験をもった実務家講師陣が本学で学ぶ大きな魅力であるという点です。講師の誰もが理論と実践の両方に精通しかつ教えるプロです。独学や単発セミナーとは次元の異なる深い学びが得られるでしょう。

ある著名なグローバル人材教育の有識者から「MBAを超えたMBA」と称された本学の学びのコミュニティで、あなたも「知の再武装」を実現し、21世紀のビジネスと社会における新しい価値をぜひ一緒に作っていきませんか。

の 再 武 装 " に よ っ て 、人 生 1 0 0 年 、現 役 8 0 歳 の 時 代 に 備 え よ う

人生のある時期に、人は自分の生き方に悩むことがあります。 30代、40代の時期が多いでしょう。いわゆる「中年の危機」と 言われる人生の見直しタイミングです。また50代、60代でも、 ビジネスパーソンとしての「時分の花」が過ぎていくように感じた ときも、悩みが訪れるでしょう。そんなときこそが、次の人生の スタートに立つチャンスです。それまで培ってきたキャリアや スキルを棚卸し、何で自分らしさを打ち立てていくのか、どんな プロとして生きていくのかを決めるチャンスです。そのチャンスを 生かすのが "知の再武装" への決意なのです。 多摩大学大学院 では、これまで培ってきた一人ひとりの知の蓄積に寄り添い、新 しい方向でのしっかりしたベースを作るお手伝いをします。 そして新しい自分だけの道を切り拓き、飛躍する人生を手に 入れてほしいのです。

> AI時代に 備えたい

現状のままで いいのだろうか

不条理な 世の中でもっと 強くなりたい

> 今の組織を 変えたい



経営の基礎を 学ばなければ 先が見えない

新しいキャリアを 目指したい

業人を目指して~ さ

"知の再武装" イノベーターシップを習得 再武装エンジン

プレゼンテーション

フィールドスタディ

大量の読書

院生同士の勉強会

現役実務家

教授からの学び

ゲストスピーカー

修士論文

実践知論文

少人数クラスでの

議論

MBA J-ZT 飛躍する人生

- 自己の専門に磨きをかけ 現状を変えるプロとして飛躍
- プロジェクト実践者 商品開発、新事業開発のリーダー CxO (CEO, CFO, CMO, CTO, CHRO···) 組織変革の仕掛け人、チェンジリーダー 海外事業展開のリーダー
- 事業家 自社の基盤を再構築するオーナー経営者 若手事業承継者 デジタル分野でのベンチャー起業家 シニア起業家
- 非営利セクターでのリーダー 医療介護分野でのマネジメントのプロ NPO/NGOマネジメントのプロ

+ ルール形成戦略

- 経営コンサルティングファーム
- 官公庁
- 国際機関
- 民間企業 経営企画部 ルール形成戦略室 政策提言チーム 涉外部
- CSR部 研究開発部 マーケティング部



+ データドリブン経営

デジタル時代にデータサイエンティストとして飛躍

学べない

ルール形成戦略

- データサイエンティスト ビッグデータ解析専門家/ビジネスコンサルタント
- CRM専門家 CRMディレクター/Webコンテンツディレクター
- デジタルマーケティング専門家 SEOストラテジスト/コンテンツマーケター

摩 大 学 大 学 院 MBAの5つ

- 実践に徹底的にこだわった【超実学志向MBA】
- 【少人数クラス】だから、深く、濃く、丁寧に学べる
- 自分とビジネスを根本から変える「イノベーターシップ」

必要

専門

知

を学ぶ

- 一生の宝ができる論文プロジェクトと白熱のゼミ
- リーダーに必須の教養、知性も磨ける独自のリベラルアーツ講座が充実
- 通いやすい品川キャンパス/院生・修了生の濃いネットワーク

- ▶ 詳しくは P8へ
- ▶ 詳しくは P9へ
- ▶ 詳しくは P10 へ
- ▶ 詳しくは P12へ
- ▶ 詳しくは P13 へ



特長

実践に徹底的にこだわった 【超実学志向MBA】

第一線で活躍する経験豊富な実務家講師陣が圧倒的に充実(※)。 ビジネスの問題解決に直結する生きた実践スキル、知恵を学べます。

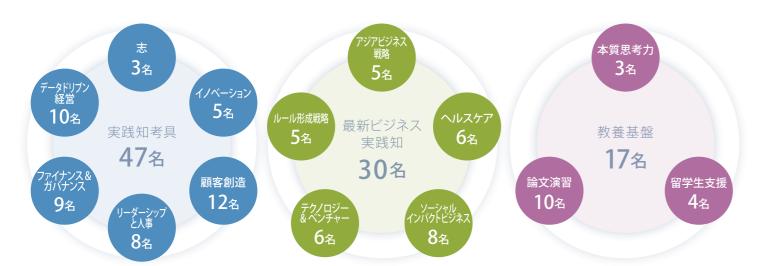
※日経HRで出版する「社会人大学院ランキング2016」の「専任教員に占める実務経験者比率」で、多摩大学大学院が1位を獲得。

Faculty

多摩大学大学院MBA 13のフィールドを担当する講師の数

各フィールドを担当する講師数は兼任(同一教員の重複)を含む

多摩大学大学院MBAでは、「志」「イノベーション」「顧客創造」というように、独自に体系化された 13のフィールドすべてにおいて、ビジネスの第一線で活躍する実務家講師陣より基本理論から 実践スキルまで、統合的・横断的に学ぶことができます。企業、官公庁をはじめとした、幅広い フィールドで豊富な実務経験を有する講師陣は、自らの経験をメソッド化し、実体験や想いを交え ながら講義を行っています。



【少人数クラス】 だから、深く、濃く、丁寧に学べる

大人数クラスのビジネススクールとは違い、講師や受講生同士の 距離が近い【少人数クラス】なので、深く、濃く、丁寧に学べます。

2018年度春学期1科目あたり平均受講者数:12.7人、社会人が通いやすい平日夜(18:30~21:40)と土日(9:00~12:10、13:00~16:10)に授業を開講

Voice

特長

実務家の先生、異業種や他国の人との議論から 自分にはない視点の意見を聞き 新たな気づきが必要とされる



情報システム業 武藤 大介 2017年入学

ビジネスの現場で鍛え抜かれた実践知を 余すところなく授けてくださる講師の方々の情熱が 日々の仕事を遂行する上での強い支えに



日本電気株式会社 プロセス業ソリューション事業部 主任 川邉 理恵 2018年修了

実学重視で実務経験豊かな講師の方々に 実践力と思考法を教わりながら 志が高い院生とともに自己研鑽できる



株式会社ウィルレイズ 総務部 広報課 兼Web企画戦略課 馬 思琦 2018年入学

院生が発言できる機会が多いことが 少人数制クラスのメリット。 講義では他の院生の発言から学びを得られる



HJホールディングス株式会社(Hulu) 人事総務部 シニアマネージャー 中楯 健 2017年入学



自分とビジネスを根本から変える「イノベーター シップ」

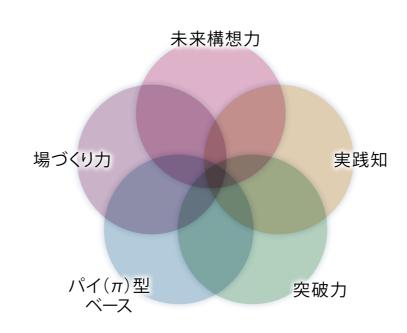
イノベーション分野で国内MBA屈指の強みをもつビジネススクールです。デザイン思考、ビジネスモデル、シナリオプランニング、デジタル戦略など経営の現場ですぐに応用できるイノベーションを起こすために必要なセオリー、実践スキルを国内外の一流の実務専門家から直接学べます。

イノベーターシップに必要な5つのカ

Innovatorship

特長

マネジメント、 リーダーシップを超える 第三の力 イノベーターシップとは、新しい世界を構想し、その 実現に向けて自らのなすべきことを考え出し、主体的に 実践していく力です。自社の経営目標を達成するだけ なら、マネジメントやリーダーシップを磨けば十分で しょう。しかし、本当に価値あるイノベーションを起こす ためには、一線を画した力が必要です。未来を描き、 ビジネスや事業を創出していく。そうした推進力をもった リーダーたちのDNAがイノベーターシップといえます。



イノベーターシップを築くためには、相互に関連する5つの力が必要です。まず挙げられるのが「未来構想力」。どこへ向かって現実を変えたいのか、未来を描き出す力です。それは、論理や分析などからではなく、情熱や志からしか生まれません。「実践知」は、自分の生き様の中から紡ぎ出す知恵。真摯な挑戦や経験から学び、少しずつ輪郭をはっきりさせていくものです。当然、未来の構想が大きいほど、現実の壁は高いでしょう。その壁を乗り越えるためには「突破力」が欠かせません。力業で押していくだけでなく、腹のくくり方や政治力、発想力など、多面的な解決策でやり抜くことが重要です。「パイ(π)型ベース」とは、1つの専門だけではない幅広い教養を備えた知性のこと。多岐にわたる経験と豊かな知見、的確な判断が、世の中の縦割りの壁を壊すでしょう。そして、未来を実現するために仲間を巻き込み、メンバーをモチベートする力が「場づくり力」です。人がついていきたくなる資質とスキルが、大きな仕事を実現します。



特長

4

一生の宝ができる 論文プロジェクトと白熱のゼミ

指導講師と取り組むビジネスの実践に根ざした修士論文・実践知論文は、自分を 飛躍的に成長させるプロジェクトです。ここから話題のビジネス書が誕生することも!(※) 講師やクラス仲間と共に自らの課題を徹底的に掘り下げるゼミは、手に 汗が出る白熱教室。人生の指針や一生の宝が生まれることも珍しくありません。

Feature



課題を掘り下げ、問題解決力を磨くゼミ

田坂 広記

田坂ゼミにおいては、基本的に「実践知論文」を作成、提出することを勧めています。実践知論文は、単なる「知識の修得」ではな く、自身のこれまでの職業分野での経験を徹底的に振り返り、「職業的な智恵」の棚卸しができるからです。そして、作成した 論文は、そのまま新事業の事業企画書であり、事業革新の戦略提言書となるようなものにすることをめざしています。その結 果、田坂ゼミを修了した院生の多くは、修了後も、その事業企画書や戦略提言書を実現するための活動に取り組んでいます。



実践知に根ざし、本質を提案する修士論文

■紺野登

多摩大学大学院の修士論文は、指導教官がテーマを選ぶのでなく、大学院生が自らのビジネス経験をもとに実践的視点で独自の課題を見つけて仮説を創り、検証、提言する点が特徴ではないでしょうか。「論文不要」のビジネススクールもありますが、それでは知識を外から獲得するだけ。自ら知を紡ぎ出すことは大変な努力を要しますが、何にも替え難いものをもたらします。紺野ゼミでは、個別指導とグループの対話を組み合わせた場を設けています。

Voice 真剣勝負で学び合い知的プロフェッショナルへ飛躍できる場

多摩大学大学院の「魅力」は、経営と変革を「実践する学び」にあり、「一流の知的プロフェッショナル」へ変わるために入学を決めました。私は、田坂広志教授のゼミで、2年間、かけがえのない時間を共に過ごし、学ばせて頂きました。このイノベーターシップの学びを「研究成果」へ変えるために、大学院修了と同時に、日本経済新聞出版社から『リーダーの言葉が届かない10の理由』を上梓・出版することができました。多摩大学大学院には、真剣勝負で学び合える「ゼミ」が無数にあります。教授陣と修了者が、ビジネス書を「単独の著作」として総数300冊以上、世の中へ上梓・出版している大学院は、わが国では多摩大学大学院しかありません。

修了生

株式会社チェンジ・アーティスト 代表取締役

荻阪 哲雄 2013年4月入学 2015年3月修了



※修了生が修士論文の成果を出版し、ベストセラーに。『リーダーの言葉が届かない10の理由』荻阪哲雄著日本経済新聞出版社。

リーダーに必須の教養、知性も磨ける 独自のリベラルアーツ講座が充実

これからのリーダーには教養、哲学、歴史観が必要です! 日本を代表する「知の巨人」の寺島実郎学長や松岡正剛氏の編集工学研究所との連携講座、ダボス会議の常連で「7つの知性」を提唱する田坂広志 名誉・特任教授など、他のどこにもない独自のリベラルアーツ系講座が充実しています。

Topic 〈ビジネス実践知探究〉 佐藤勝彦特任教授×編集工学研究所



情報を分別し、昇華されたステージへ
〜編集工学研究所と連携した新たな取り組み〜

編集工学研究所

13

松岡正剛氏が塾長を務める日本の次世代リーダー育成塾「ハイパーコーポレートユニバーシティ [AIDA]」では、複雑さを増す社会を捉えなおす方法として、ものごとの「間(あいだ)」に着目しています。古今東西の知の世界に触れ、「間」を捉える視点を獲得した塾生は、その知見をビジネスの現場でどのように活かしているのか。塾の卒業生であり各界で活躍するビジネスリーダーたちが講師となり、「間」をテーマにビジネスにおける「教養」の力を語る講義とディスカッションによる実践的教養講座です。物事の関係性を取り扱う知の技法である「編集工学」のスキルも合わせてワークショップ形式で学びます。









松岡 正剛 氏

特長

雑誌『遊』編集長、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授をへて、現在編集工学研究所所長、イシス編集学校校長。日本文化、芸術、生命哲学、システム工学など 多方面におよぶ思索から情報文化技術に応用する「編集工学」を確立。システム開発、企業プロデュース、地域文化再生など多彩なプロジェクトを手掛けています。

人生を切り拓く、刺激的な学びと出会い

Master of Business Administration

当ビジネススクールは、実践に徹底的 にこだわった【超実学志向MBA】です。 第一線で活躍する実務家講師陣から、 MBAの基本理論からイノベーション メソッドまでを統合的、横断的に学べ ます。【少人数クラス】で丁寧に分かり やすく、インタラクティブに双方向授業 を展開するので、本物の実践力が身に つきます。特に、当校が強みをもつ 【イノベーション系講座】では、デザイ ン思考やビジネスモデルなどイノベー ション経営の重要分野をその世界の 第一人者から直接教えを受けられます。

CFP[®]資格取得支援

(Certified Financial Planner)

本学院で所定の科目単位を取得した者はAFP認 定者でなくても受験資格が得られます。(必修科目 6科目(P19・20参照)と宇佐美洋教授の論文演習 を履修して「提案書課題」を作成することが要件)

【MBA基本理論+イノベーターシップ=突破力のあるリーダーを 育成する新しいMBA】

マネジメントの基本理論からイノベーションの専門メソッドと実践知まで 総合的に学べる新時代のリーダーのためのMBAプログラムです。

実践知考具

マーケティングやファイナンス などの縦割りの専門を融合し た、スーパージェネラリストの 知的問題解決の構えとツール を学び、実践力を鍛えます。

MBA基本理論

- ファイナンス
-) マーケティング ○ 人事とリーダーシップ
- 経営戦略) ロジカルシンキング

イノベーションメソッド

- 目的工学
-) ビジョン&志
- デザイン思考
- ビジネスモデル シナリオプランニング

当大学院の捉える教養とは、 ビジネス構想力の基盤です。 時代認識をより深め、視界を 広げることで、時代を見抜く目 を養い、ビジネスチャンスを 広げます。

教養基盤



築き上げ、それを自分の組織の課題に応用し、解 決案を提案します。複数の指導教官とひざ詰め で知を共創する道場です。



ケーススタディでは得られない現場の人々の生 の声を聞き、現場での実践を通じて、人生を変える経験を積むことができます。今年は震災復興被災地等での現場体験で実践知を磨きます。

最新ビジネス実践知

もはや表層的な知識では世 界での勝負に勝てません。世

界最先端のベストプラクティ

スとビジネスモデルを探求

し、専門性の深化を図ります。

産業社会の問題解決の最先端で活躍する高度経営 人材へ

プロジェクトリーダー 経営トップ 起業家 戦略参謀 グローバルビジネスリーダー 自立専門家

【カ	リキュラム一覧】	
	志	スーパージェネラリスト / ネオ・リベラルアーツ / 経営者の志と実践知 / 企業理念経営 / ライフシフト:人生の成長戦略
	イノベーション	知識創造経営のプリンシプル / イノベーションマネジメントシステム (IMS)と目的工学 / デザイン思考ワークショップ/シナリオプランニングワークショップ / ビジネスモデルイノベーション / 経営戦略概論 / 実践アントレプレナーシップ / グローバル技術経営論 / ビジネスモデル創造特論 / イノベーターのための顧客創造戦略理論と実践技法
	顧客創造	マーケティングマネジメント概論 / インサイトコミュニケーション / プレミアム 価値創造のブランド戦略 / Webマーケティング戦略 / 戦略PRマーケティング / サービスイノベーション / 日本の流通構造とSCMのメガトレンド / 最新ロジスティクス戦略 / B to Bマーケティング / 経営視点からのコンタクトセンターの 活用 / 観光インパウンドマネジメント / 商品ブランドマネジメント
実践知考具	リーダーシップと人事	ヒューマンリソース概論 I・II / インナーコミュニケーション / カルチャーベースマネジメント / 実践組織変革 / ストレスマネジメントと精神回復力 / 組織行動とリーダーシップ / ケーススタディ組織を動かす変革型リーダーシップ 論 / キャリアマネジメントとモチベーション / 実践ポジティブ心理学
	ファイナンス&ガバナンス ファイナンス基礎 I (経営財務) / ファイナンス基礎 II (リスクマネジメント業会計・簿記入門 / 企業分析と経営指標 / 行動経済学 / マネジリアル・ンティング / M&A戦略と実践企業ファイナンス / 夢をかなえる実践リスジメント / ファイナンスイノベーション基礎 / ファイナンスイノベーショ / 法の経済分析入門 / 組織と戦略の経済学 / 中小企業の価値創造と事	
	データドリブン経営	DX変革:データサイエンスによる企業変革 / DX変革:顧客起点のトランスフォーメーション実践知 / DX変革:Al/Watsonに学ぶ知のデジタル化の実践知 / クリティカルシンキング / データドリブンの戦略構築 / サービスサイエンス / マーケティングリサーチ / データビジネス活用 / データ活用入門 / マーケティングデータサイエンス基礎 / ビジネスデータ活用実践 / 統計的データ分析 / 集中ゼミ(統計検定)
	アジアビジネス戦略	世界潮流と企業戦略 / アジアビジネス戦略とグローバル共創 / Business Communication for Global Leaders / 日本企業の中国ビジネス / Business in Globalized India - The Japan Perspective
	ヘルスケア	医療・介護経営 ・ / 医療・介護マネジメントの実践知 / 高齢社会のまちづくり / 医療・介護の成長戦略 / 異業種間のコミュニケーション術 / 地域包括ケアのビジネスモデル / 日本の製薬企業の未来
最新ビジネス実践知	ソーシャルインパクトビジネス	非営利法人のファイナンス/ソーシャルビジネス演習/トライセクターリーダー論/実践を通して学ぶソーシャルビジネス/ベンチャーCFO養成講座/ソーシャル・ファイナンス/街づくり最前線
く実践知	テクノロジー&ベンチャー	最新テクノロジーとAIの世界 / ITビジネス原理と先端戦略 / 先端ITマーケティング イノベーション / IT・AIビジネス創出演習 / プロジェクトマネジメントの基本と応用 / 日本のモノづくり経営 / 実践事業創造 / ベンチャー企業論
	ルール形成戦略	社会課題起点のルール形成戦略 / 経済連携協定(FTA・EPA)と経営戦略 / 安全保障経済政策論 I・II / 政治内部の視点に基づく議院内閣制度における公的ルール形成プロセス / ルール形成戦略研究所特別講義 / ルール形成のためのメディア戦略 / 議員事務所でのインターンシップ / ルール形成戦略研究所でのインターンシップ /
	本質思考力	ビジネス実践知探究 / 問題解決学 ・ / インターゼミ(寺島実郎学長ゼミ) ~ / フィールドスタディ ~
教養基盤	留学生支援	留学生のための日本経済・経営基礎 / 留学生のためのビジネス日本地理・ 日本史基礎 ・ / ビジネスジャパニーズ ・ / 論文スタートアップ ・
	論文演習	

15

多摩大学大学院でしか学べない、革新的経営のための3つの専門領域

データの力とAIの力を活用して データドリブン経営での 課題解決力を身につける

データドリブン経営

Data-driven Management

データドリブン経営の現場で活躍する実務家講師陣が、課題解決のノウハウを実践的に伝授。単なるAI適用ではなくビジネスでの現場の知をもとにしたデータ活用とAI活用について修得。IBMとの連携講座ではIBM Watson™(ワトソン)を用いた最先端データドリブン経営について伝授します。

_長 データサイエンスによる "知の再武装" を図る

データドリブン経営の最前線で活躍する実務専門家が講師陣です。 データを駆使して大きな成果を出すデータドリブン経営の実践的メソッドと生きた ノウハウを学べます。

特長 ビジネスデータの活用についてビジネスとアカデミック両面から学ぶ

未来のビジネスシーンでの課題を解決するためのビジネスデータの活用について、ビジネスとアカデミックからの特別講師を招き、MBAとしてのデータサイエンス活用について学びます。

世界水準のデータドリブン経営を学べる IBM との連携講座の開設

グローバル化したビジネスで求められる世界水準のデータドリブン経営の最先端を IBM の気鋭コンサルタントがその考え方から IBM Watson™ を用いた 実践について教授します。



ルール形成戦略

Rule-Making strategy

革新的な技術や製品、社会課題解決型事業モデル、それらが世の中に受け入れられる市場の新たなルールまで自ら構想し、組織力を動員してポリシーメーカーに対して適切なチャネルでアドボカシーを展開して市場を創造する再現性のあるスキルを得ることができます。

政産官学からルール形成戦略の第一人者が結集する教授陣

現役の政治家、官僚、学者、経営戦略コンサルタント、民間企業のルール形成戦略担当、マスコミの政治・報道部担当から構成されており、リアルタイムで進行中の最前線のルール形成の情報を織り交ぜたルール形成戦略のアプローチが学べる唯一無二の場です。

特長 日本で初めて外交、軍事、通商を一体化した授業である安全保障経済政策を体得

海外の安全保障経済政策シンクタンクのネットワークを有効活用し、座学およびフィールドワークを通じて安全保障経済政策をルール形成戦略という 視点から読み解く実務的なノウハウを体得します。

実践的なフィールドワークを通じたポリシーメーカーとのネットワーク構築と 政策形成プロセスへの深い理解

ルール形成戦略研究所で取り組んでいる現在進行中のルール形成戦略に客員研究員として参画、議員事務所でのインターンを通じた政治家目線 からの政策形成プロセスの理解、海外の政策シンクタンクの訪問によるグローバルなフィールドでのルール形成など、実践知を得ることができます。

社会にインパクトを与えるビジネスを創造する

ソーシャルインパクトビジネス

Social impact business

2015年の国連SDGs (Sustainable Development Goals) の公表以降、NPOやNGOだけでなく、経済的価値を追求する既存の営利企業においても大きな経営課題になっている「社会的価値」を実現するための理念形成から実践的スキルまで、幅広く会得することができます。

日本で初めてソーシャルビジネスを体系的にまとめたコース

ソーシャルインパクトビジネス領域は、ソーシャルビジネス研究を専門とする社会的投資研究所の教授陣、講師陣、客員研究員などの活動を核とする、 ソーシャルビジネスの起業、ファイナンス、人事、組織、経営などが体系的に学べるよう構成された、我が国唯一の大学院コースです。

特長 ソーシャルビジネスの第一人者が結集する教授陣とゲストスピーカー

教授陣や講師陣や、ゲストスピーカーとして参画するメンバーは、ソーシャルビジネス、ソーシャルファイナンスなど、ソーシャルセクターの第一人者から構成されており、現在、現場で起きているソーシャルビジネスの新しい動きがリアルタイムで把握できます。

社会的投資研究所のネットワークを通じたグローバルな広がり

社会的投資研究所は、AVPN (Asian Venture Philanthropy Network) や社会的投資推進財団 (SIIF) など内外の機関と連携して活動の場を広げています。 ソーシャルインパクトビジネスを専攻した在学生および修了生は、フェローとして社会的投資研究所の活動に参画し、AVPN や社会的投資推進財団など 内外の機関とのジョイントワークに参加できます。

17

カリキュラム

2年間で体系的なマネジメント理論と実践知および イノベーターシップの修得を目指す立体的なカリキュラム (全120講座)

MBAコース

実践知考具

イノベーターシップの 実践ツールを学ぶ

経営者の志と実践知

佐々木 弘明 教授

志とは士の心と書く。日本的経営者のその神髄を探求する。経営者を取り巻く環境は激変しており、その中でどう舵取りするのか。また理念の創造、浸透などについて、ベストやトップ層を迎えてのオムニバス的な講義。

▶ 知識創造経営のプリンシプル

紺野 登 教授

今やドラッカーが指摘した知識 社会・経済が訪れているが、依然 工業社会のモデルを引きずった ままの経営が多いのも事実であ る。本講は知識創造理論を軸にして、戦略、知識・経営資源のあり方 を「知」で考え実践への足がかりと する場として行きたい。

▶ ビジネスモデルイノベーション

河野 龍太 教授

現代の勝ち組企業に共通するのは、ビジネスモデル・レベルでのイノベーションに成功していることである。本講義ではビジネスモデルイノベーションを実現するための戦略を体系的に学び、組織での実践と展開を助ける世界的に定評のあるツールの習得を図る。

▶ ビジネスモデル創造特論

河野 龍太 教授

ー時的競争優位の時代においては、既存事業の運営と平行して継続的に新しい事業を創造し、ビジネスモデルのポートフォリオによって優位性を築く戦い方が重要になる。リーンスタートアップなど先端的な事業創造のメソッドを学び、それらを実際に使って仮説検証型の事業開発を実践演習する。

▶ インサイトコミュニケーション

久恒 啓一 教授

全体と部分・構造と関係を鳥瞰できる「図解」は文章と箇条書きで汚染された世界を一新する基本ソフト(OS)です。図解という新しい武器で洞察(インサイト)力を磨き、世界を軽やかに疾走しよう。テーマは森羅万象。毎回、目からウロコの授業を展開します。

志

Vision and wisdom

▶ 企業理念経営

佐々木 弘明 教授

企業理念とは、創業者精神を表す ものであり不変的なもの。また経 営理念とは、その時々の環境に合 わせた可変的なものを経営理を と呼ぶ。今まさに、何を残し何を捨 てるべきなのか。ウェイ伝道者を 招聘し深く探求する。

・イノベーションマネジメントシステム (IMS)と目的工学

紺野 登 教授

今世界の企業はこれまでになく「目的」を重視し始めた。過剰なファイナンス志向への反省や、社会的イノベーションへの関心が背景にある。目的工学とは目的に基づく経営及び目的をいかにビジネスやブロジェクトの成功に結びつけるかを考えるアプローチである。

▶ 経営戦略概論

前川 慶一 客員教授

世の中には色々な戦略策定法がありますが、どんな状況でも万能ではありません。この講座では、座学とケーススタディを通じて代表的な各種戦略策定手法の考え方、し使い方、具体的策定法、さらに戦略実行に重要な経営の意思決定のあり方を学んでいただきます。

イノベーターのための顧客創造戦略 理論と実践技法

河野 龍太 教授

スティーブ・ジョブズやジェフ・ベゾスといった真に傑出したイノベーターは単に 才覚の人ではない。イノベーションのセオリーに精通しそれらを経営に取り入れ実践したことで知られる。この講義では代表的なイノベーション戦略とセオリー、それら 実践するためのツールを取り上げケースと演習を交えて実践的に習得を図る。

プレミアム価値創造のブランド戦略

吉松 敏也 客員教授

欧州のプレミアムブランドは、どのようにしてブランド力を手に入れたのか?デザインとブランドの関係は? 志のブランドとは?アメリカで発達してきた従来のマーケティング手法を見直しながら、日本発のプレミアムブランドを生むには何が必要なのかを考える。

スーパージェネラリスト

田坂 広志 名誉教授•特任教授

思想、ビジョン、志、戦略、戦術、技術、人間力という「7つの知性」を垂直統合して身につけた「スーパー・ジェネラリスト」へと成長するための方法と、その核心である「多重人格のマネジメント」について語る。

▶ ライフシフト:人生の成長戦略

荻阪 哲雄 客員教授

チェンジ・アーティストとは、変化を働きかける表現者である。本講は、チェンジ・アーティストになるために必要な「熱望」「実験」「修業」「結果」「体験」「盟友」「好転」という、【飛躍の7カ】の思考法を、体系的に学ぶ。

デザイン思考ワークショップ

紺野 登 教授

デザイン思考と言う言葉が世に出て久しいが、ようやく実践の段階にきた。デザイン思考の本質は何か。どのような理論的な理解ができるのか。そしてどうやって実用実まればよいのか。本講は知識創造の一形態としてのデザイン思考を集中ワークショップ形式で学ぶ。

実践アントレプレナーシップ

本荘 修二 客員教授

ベンチャーから大企業まで事業創造のための、知識、技術、思考法を学ぶ。そして、少人数でプレゼンとディスカッションを繰り返し、事業案を練り上げる演習を行う。また、自己のスタイルの進化を促し、マインドセットを醸成する。

顧客創造

Creating customers using insight

▶ Webマーケティング戦略

土屋 有 客員教授

WEBマーケティング戦略では、新 しいテクノロジートレンドをおさ えるだけではなく、実際の企業内 でのマーケティング活動における テクノロジーの活用、また大前提 となる顧客のライフスタイル変化 を事業戦略に取り込み価値創出 の実現を目指します。

▶ ネオ・リベラルアーツ

田坂 広志 名誉教授•特任教授

書物や文献を通じて言語的に学ぶ「知識」としての教養ではなく、 経験と体験を通じて身体的に掴む「智恵」としての教養を身につける方法を語る。

イノベーション

Innovation for the future

シナリオプランニングワークショップ

紺野 登 教授

シナリオプランニングはかつて不 測事態への備えや構えだと捉えら れていたが、今や未来的視点での 対話型変革のツールとなってい る。本講ではワークショップ形式で シナリオプランニングの基本理解 とイノベーションのための活用に ついて実践できるようにしたい。

▶ グローバル技術経営論

楠田 幸久 客員教授

グローバル環境下、日本をとりま く事業環境は急激に変化してい る。その中での企業経営、製品戦 略の基礎、イノベーションの考え 方、ビジネスモデルの重要性等 について学ぶ。

マーケティングマネジメント概論

河野 龍太 教授

市場が成熟し差別化が難しい現代において、顧客の視点からユニークな価値を生み出すマーケティング戦略の重要性が増している。本語義では顧客の本質的ニーズをつかみユニークな提供価値を創造し、それらを市場浸透させるための体系的な戦略と技術を学ぶ。

▶ 戦略PRマーケティング

久保山 路子 客員教授

本講義ではマーケティングにおけるコミュニケーションのパフォーマンスを最大化するために「PRの戦略的な活用」について学びます。概念理解から入り、疑似体験やワークショップによる体感実習を経て実践的に活用できるレベルをめざします。



サービスイノベーション

諏訪 良武 客員教授

日本の国内総生産の75%は、サービス業です。残りの大半は製造業ですが、活躍している製造業はサービスに力を入れています。つまり、すべての企業はサービス業の時代です。この時代に活躍できるのは、サービスのプロです。サービスイノベーションを学びましょう!!

▶ 経営視点からのコンタクトセンターの活用

宮﨑 義文 客員教授

企業にとってコンタクトセンターはお客様と のビジネス最前線に位置し、お客様を知ることができるだけでなく、お客様中心の企業変 革の起点にもなる。労働人口減少や人工知能の影響も強いだけに、コンタクトセンター の経営活用は今後の経営人材の必須知識である。本コースは事例所突を中心にコンタクトセンターの経営活用の基礎を習得する。

リーダーシップと人事

Leadership mastery

・インナーコミュニケーション

徳岡 晃一郎 教授

イノベーターシップの柱の一つである「場づくり力」の中核がコミュニケーションです。①社員の信頼を醸成し共感しあえる 共同体を作るには。②ベクトルがピタリと合った戦闘能力の高い組織を作るには。③ 常にリフレッシュし知を創造し続けるチムを作るには。これら3つの課題を達成するコミュニケーション戦略を学びます。

▶ 組織行動とリーダーシップ

須東 朋広 客員教授

組織のイノベーションや生産性 を高めるためには経営資源である「人」の能力を最大限に引き出 すことが重要となる。「つくれば売れる」時代から「売れるモノをつく る」時代へと変化した昨今、求めら れるビジネスリーダーの在り方に ついて学び議論していく。

ファイナンス&ガバナンス_、

Finance and governance

▶ 日本の流通構造とSCMのメガトレンド

西田 邦生 客員教授

ライフラインともいえる日用品の 流通構造を様々な角度から紐解 き、サブライチェーンの形成と衰 退の変遷と必然性を解説すると 共に、インターネットによりもたら されるサブライ・チェーンとサプ ライ・Webの 2 元流通の到来と、 最新のビジネス革新を解説する。

観光インバウンドマネジメント

中山 こずゑ 客員教授

人口減少社会において交流人口を増加させることで、どんなプラスのオポチュニティを他産業に及ぼすことができるのか? 現状の観光業、観光行政を他国と比較しなから、観光を支える組織の在り方を、データが析、現地調査を基に議論しながらこの分野でのイノベーションを起こすマネジメントはどうあるべきかを考えて行く。

▶ ヒューマンリソース概論 IA

徳岡 晃一郎 教授

組織は人なり。この世界共通のコンセプトがいま日本では大きく揺らいでいます。成果 主義に翻弄され、ブラック企業が跋扈し、若 い世代は希望を持てずに、高齢者も不安。そ の原因は日本の人事のおり方を歴史にさか のぼって、冷静に見据えてこなかったつけで もあります。日本型人事の基礎をしっかりと振 り返り、明日への展望と哲学を再検討します。

▶ カルチャーベースマネジメント

徳岡 晃一郎 教授

個 光一 い 教授
企業文化は企業戦略を生み出します。す
なわち、企業のカルチャーこそが企業の
最大の資源なのです。トヨタやゲーグル、
スターバックスを見るまでもなく、優秀な
企業ほど、自社のカルチャーを大切にし、
育て、また革新し続けています。企業カル
チャーの生成。革新のマネジメントの手
法を実際の企業事例を通じて学びます。

ケーススタディ 組織を動かす変革型リーダーシップ論

迫川 史康 客員教授

企業における組織変革の具体的事例をケーススタディを通じて学びます。既存のビジネスモデル(儲ける仕組み)を牽引するだけでなく、新たなビジネスモデルを創造するイノベーターシップを考察い、受講者間で議論をし、自身の成長につなげることを目指します。

ファイナンス基礎 I (経営財務) [CFP必修]

宇佐美 洋 教授

ファイナンス分野の背景にある重要な概念や教訓を丁寧に説明し、金融財務、会計、事業評価、リスクマネジメントの基礎を学び、具体的には、現在価値、ポートフォリオ理論、投資、資本調達、資本構成などのファイナンスの基礎概念に習熟する。

▶ 最新ロジスティクス戦略

角井 亮一 客員教授

12

アマゾンのジェフベゾスは、「アマゾンはロジスティクス会社だ」と言っています。東京で1時間以内に届けるPrimeNOWを開始し、他社よりも高いサービスレベルで、勝ち抜こうとしています。たくさんの例を挙げ、物流が企業力をどう高めているかを勉強します。

商品ブランドマネジメント

佐野 扶美枝 客員教授

ビジネスにとって、なぜ、「強いブランド」が必要なのか? どうしたら、「強いブランド」を構築できるのか? 数多くの失敗を重ね、成功も重ねたブランドマネージャーとして培った顧客視点のブランドマネジメントのスキルを商品企画、宣伝広告、販売促進、売上の組み立て方に至るまで実践に基づいて具体的にレクチャーする。

▶ ヒューマンリソース概論 IB

佐々木 弘明 教授

経営の両輪である、経営戦略に資する人事戦略とは何か。人事手法としての採用・育成・評価・配置、MBOに代表されるHRM、人材育成に代表されるHRD、給与福利厚生などの労政、組織開発などの人事戦略の基礎を探求する。

▶ 実践組織変革

近田 正幸 教授

組織を分析し、動かし、イノベーションを起こす理論と方法論を 実践的に学びます。起業を目指す人、組織の成長を担う人、現在 の組織に悩む人、組織にイノベーションを起こしたい人などにお勧めの科目です。

キャリアマネジメントとモチベーション

片岡 裕司 客員教授

人生100年時代の到来を前に、個人も組織もキャリアに対する価値観の変革が迫られています。どうすればイキイキと働いていけるのか。どうすればなりな活性化できるか。この変化の時代をどう切り拓いていくかについて、個人と組織の両面から一緒に考えていきましょう。

ファイナンス基礎 II (リスクマネジメント) [CFP必修]

宇佐美 洋 教授

ファイナンスの応用編として、主 に、資本構成、配当政策、資本予 算、企業評価、デリバティブを学 び、さらに、M&A、企業再編、コー ポレートガバナンス、リスクマネジ メントなどの経営戦略上きわめて 重要な諸課題についてもふれる。

▶ BtoBマーケティング

德永 朗 客員教授

まずBtoB事業の本質・特性を踏まえた固有のマーケティングの考え方や勘所を学び、それを踏まえて、イノベーション経営やデジタル事業変革への即応などてれからの戦略的マーケティングに向けた状況認識と対応施策を議論します。事例と理論と関して考えを派らせ、解を導けるよう構成します。

▶ ヒューマンリソース概論 II

徳岡 晃一郎 教授

日本型の新しい人事マネジメントとして 広まりつつあるMBB (Management by Belief: 思いのマネジメント)を軸に、世 界で活躍する知識創造企業になるため に必須の新しい人事制度の哲学としく みを検証します。イノベーターシップの 中核である熱い思いを育てる手法と、思 いのある組織の育成方法を学びます。

ストレスマネジメントと精神回復力

水木 さとみ 客員教授

イノベーターたちは、日々予期せぬ出来事に遭遇しながらも高い目的に向かって進み続けます。逆境の中、自己のもつ能力を最大限に発揮する手段であるストレスマネンメントと精神回復力を養うノウハウを科学的かつ実践的にお伝えします。

実践ポジティブ心理学

三田 真美 客員教授

人間にとって「幸せ」な状態を解明するポジティブ心理学。本講座ではその柱となるレジリエンスやフロー、ストレングスといった概念を解説し、日常生活でポジティブな感情を高めるエクササイズを紹介します。加えて、人材育成や組織運営におけるポジティブ心理学の活用方法について考えます。

▶ 企業会計・簿記入門 [CFP必修]

井村 順子 客員教授

企業会計の基礎的な知識は、ビジネスパーソンにとって不可欠の要素である。本講義では、財務諸表の理解に始まり重要論点を学ぶとともに、最終的にはディスクロッジャー制度を理解することにより、財務諸表を有用に活用するための知識が身につくことなる。

※科目名および担当教員については、変更となる場合がございます。



文部科学大臣より「職業実践力育成プログラム BP」として認定

多摩大学大学院MBAは、文部科学大臣より「職業実践力育成プログラムBP (Brush up Program for Professional)」の認定を受けています。厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携して、社会人の学び直しを支援しています。

▶ 企業分析と経営指標

大津 広一 客員教授

10の重要経営指標(KPI)の理解を進めながら、さまざまな企業をケーススタディとして取りあげます。会計・財務戦略、企業戦略、個別企業や業界動向など、広範囲にわたって深く学生、学生間でのインタラクティブな進行スタイルです。

夢をかなえる 実践リスクマネジメント

樋渡 淳二 客員教授

リスク管理フレームワークの知識と成功・失敗事例により、組織や個人が夢を実現するリスクマネジメントを学びます。難しい数学や金融の知識は不要です。「恵まれていると、なぜ、環境変化に対応できにくいのか」など、新たな発見を大事にしていきます。

► 組織と戦略の経済学[CFP必修]

宇佐美 洋 教授

経済学で組織の読み解く方法を学ぶ。経済学では企業や組織や契約や所有などをどう捉えるかを学び、さらに企業経営やガバナンスを見直す視点を獲得する。最近の組織の変化のエッセンスを理解するために、経済学の視点から組織や法律や制度の新しい見方を学ぶ。

DX変革:顧客起点の トランスフォーメーション実践知 IBM提供

森 祐之 客員教授

デジタル時代では、これまでの業界の垣根を超えた競争を勝ち抜くために、ビジネスとテクノロジーが真に一体となった変革アプローチが成功の力ギとなる。 従来の枠組みにとらわれない、これからの企業変革実践における要諦を理解する。

▶ サービスサイエンス

中野 未知子 客員教授

インタビューデータから実践知を導出する過程のケーススタディ講義。統計学の専門技術講義やマーケティング事例講義ではなく、受講者が身の回りのデータでアナリティクスに一歩踏み出すきっかけ」となる講義を目指す。修論で質的データ分析を予定する人にも役立てていただきたい。

▶ マーケティングデータサイエンス基礎

佐藤 洋行 准教授

データサイエンスを取り入れることがマーケティング成功の必須条件にさえなりつつある一方で、データサイエンスを知るマーケターは少ない。本科目では、データサイエンスの実践知を身につけたいと考えるマーケターに、その手法の詳細より思考方法や応用方法を理解してもらいながら、データサイエンスの基礎を学んでもらう。

▶ 行動経済学

直壁 昭夫 客員教授

現在、実際に発生している経済・金融の事象を分析することによって、 今後、世界の経済情勢や金融市場 の動向にどのような変化があるか を考える。そのプロセスの中で、経 済・金融の基礎知識の習得を目指 す。適宜、外部のゲストスピーカー にもディスカッション参加予定。

▶ ファイナンスイノベーション基礎[CFP必修]

小野里 光博 客員教授

高校又は大学受験以来、数学を使う機会がなかった人の中には、数式を見ただけで学習意欲を失う方が少なくありません。本講座はそうした受講者を対象に、経営学やファイナンス理論の学習に最知能必要となる数学の基本的な知識と手法の習得を目的としています。

▶ 中小企業の価値創造と事業承継

藤太 汀里子 客員教授

中小企業の「価値創造」を考えるとき重要なのは、経営者の「経営者力」の向上です。 その出発点は、経営者自身の内面変革にあります。本講義では、中小企業の「ヒト・経営演・資産の勇衆はこついて、経営者の内面変革の効果的手法を学んだあと、"生きた"事例を見ながら事業承継の実践的知見を習得することを目指します。

DX変革:AI/Watsonに学ぶ 知のデジタル化の実践知

鈴木 至 客員教授

企業が競争力向上を目指す上でAIによるデータ活用は必須だが、実際にAIを理解することは難しい。IBMWatson™関連技術を用いたビジネス課題解決を通じて実践的な観点からAIを理解する。特にAIが"賢くなる(=学習する)"ためのデータの重要性を理解しその評価方法を身につける。

マーケティングリサーチ

今泉 忠 教授

マーケティングではしばしばデータに基づいた意思決定が必要とされる。本講義では定量・定性の両面からマーケティングに必要なデータの収集方法と分析の仕方を学習すると共に、データに基づいたマーケティングの考え方についても学習する。

▶ ビジネスデータ活用実践

佐藤 洋行 准教授

本科目では、様々な業態の組織において、 データ活用プロジェクトがどのように行われているのか、チーム作り・チーム運営・システムの観点から整理して類型化ける。それと共に、各類型における成功の鍵とリスパイントについて解析することで、データ活用プロジェクトを成功させるためのコッをつかんでいただきたいと考えている。

マネジリアル・アカウンティング

真壁 昭夫 客員教授

財務会計(ファイナンシャルアカウンティング)との違いから、マネジリアル・アカウンティング本 来の経営者の意思決定のための では会計の仕組みの習得を目指す。適宜、ケーススタディーなどによって実践で有効な手法等を検証する。

ファイナンスイノベーション実践

伊藤 祐輔 客員教授

金融関係者のみならず、昨今あらゆるビジネスにおいて高度な金融知識を求められています。当講義は各自が専用のソフトウェアを使用して仮想売買を体験し、市場を通じてビジネスに必要な幅広い知識を実践的に取得するアクティブ・ラーニング型の講義です。

データドリブン経営 Data-driven management

クリティカルシンキング

柏木 吉基 客員教授

概念的・学問的な思考法ではなく、プレゼン、企画、提案、課題解決など、実践の場でのロジカルな主張の組み方、陥りがちな思考の盲点などをディスカッションベースで学びます。日常業務と全く違う、本質を考え抜くための頭の使い方に開眼することでしょう。

データビジネス活用

志賀 敏宏 教授

「問題意識→リサーチクエスチョン →仮説立案→仮説検証」が問題解決 です。価値あるリサーチクエスチョン から発見・創造的な仮説立案・検証 を行いましょう。これで貴方は一流の 「問題解決者」、頼られる人になりま す。そのための授業に能動的な参加 を求めます。その成果は保証します。

▶ 統計的データ分析

久保田 貴文 准教授

ビジネスの現場で利活用できる統計的なデータ分析の手法について学びます。実際に統計ソフトウェアRを利用して、比率の差の検定、平均の差の検定、分散分析や回帰分析などのスキルとともにその背景にある統計的な考え方を修得します。

▶ M&A戦略と実践企業ファイナンス

中岡 英隆 客員教授

グローバル企業にとってM&A戦略は最重要課題である。本講義では、コーポレート・ガバナンスや資源ベースの経営戦略論の視点を織り交ぜながら、オブション理論に基づいた最新の企業価値評価の手法により、企業の資金調達やM&A戦略、企業価値創造力の評価を学ぶ。

▶ 法の経済分析入門[CFP必修]

宇佐美 洋 教授

経済学で法律を読み解く方法を学ぶ。最近企業をとりまくビジネス環境、とくにビジネスの「土俵・枠組み」としての制度や法律がめまぐるしく変化している。このような環境を読み解くには、法律や制度を経済学で分析する視点を身につけることがきわめて有効である。

DX変革:データサイエンスによる IBM提供 企業変革

101

前田 英志 客員教授

デジタル時代における問題解決をより高度に行うために必要な能力を、実践を通じて習得する。AIが台頭してきた時に、人間が本質的に必要となる能力は何かということを見極め、その能力の育成を行う。能力は、思考力、続計力、表現力の3つに分け、実践的なテーマを具体的に解く中で身につける。

▶ データドリブンの戦略構築

栗山 実 客員教授

現代の企業経営ではもはや欠かせない「データに基づく経営戦略の意思決定」を扱います。大局的な経営戦略を定めるために、データ分析をどう扱う技術や視点が必要なのか、系統的知識に加えて演習などの実践を通して深めます。

▶ データ活用入門

今泉 忠 教授

ビジネスデータにもとづいた課題 解決案は比較可能で関係者が納得できるようになっている必要が あります。この科目では、そのため の標準的な分析フレームワークと その中での、予測・要約・分類など に関する手法を、課題解決案の提 案のために手法として学びます。

集中ゼミ (統計検定)

今泉 忠 教授

ビジネスデータを扱う場合に、単なる数値として処理をして、そこから知見を得ない場合が多くあります。データを基づいた問題解決のために必須の統計的思考法とそのためにスキルについて学びます。また、統計検定の受験を行うことで、外的な資格認証とします。

最新ビジネス 実践知

専門領域での "知の再武装" によって プロの深みを学ぶ

アジアビジネス戦略

Asia business strategy

▶ 日本企業の中国ビジネス

徐 向車 客員教授

▶ 世界潮流と企業戦略

金 美徳 教授

世界経済や国際情勢など世界潮流 や時代の変化を俯瞰し、経営環境 を見極め、地政学的戦略力と国際 教養力を養う。キーワードは、アジ アダイナミズム、インバウンドビジ ネス、グローバル組織人事である。

▶ 医療・介護マネジメントの実践知

本講座は、オムニバス授業で、医

療介護業界の実践を行っている講

師を招聘し、90分の講義と後半の

講師と教授、参加者との豊富な議

論で内容を深めていく、めったに

ない機会を提供する講座である。

地域包括ケアシステムの本質を知

り、医療介護の専門職の役割を知

ることで、新しい価値観を身につ

け、SDGsのGOAL11「住み続けら

れるまちづくり」をヘルスケアビジ

ネスで支えることができるように

イノベーティブなビジネスモデル

株式会社のファイナンスは既に確

立された学問分野であるが、寄付

全 助成全 税優温たどを含めた

NPO、学校法人、財団法人など非

営利法人のファイナンスは、未だ

発展途上である。本講座では、こ

の新分野を、ゲストスピーカーを

交えて受講生と共に研究する。

地域包括ケアのビジネスモデル

石井 富美 客員教授

を構築しましょう。

堀内 觔 特仟教授

非営利法人のファイナンス

直野 俊樹 特任教授

Business in Globalized India

- The Japan Perspective アルニッド・マッリク 客員教授

巨大中国市場で成功するには、「常識を India is an excellent example of a rapidly 疑う!先入観を持たない!勇気を持って行 globalizing world, where traditional supe nowers are being pushed back and emerging 動をする」ことが必要不可欠。インバウン economies are becoming more and more ドや越境通販などの最新現場体験や、企 powerful. There's a lot to learn from how 業の失敗・成功例をもとに、受講者との双 Indian business leaders have evolved new and 方向ディスカッションを通じて、中国ビジ more globally successful business models and ネスの実践知から、これからの日本企業 management strategies to ensure that their companies stay ahead of the competition. やビジネスマンの「勝ち方」を考え抜く。

▶ 医療・介護経営II

真野 俊樹 特任教授

本講座は、学生に主体的に参加してもらう講座である。最初に教員から業界の展望を話し、その後実務に詳しい外部講師を招聘した授業を2回ほど行い、最後に、それまでの議論を踏まえて、参加者にPPTで発表してもらい、内容を深めていく授業である。主に、ヘルスケアにおけるマネジメントを考える。

▶ 異業種間のコミュニケーション術

白井 雅弓 客員教授

「『餅は餅屋』で専門家に任せておけばよい」といっても、頼みの専門家の妥当性などを判断するためには対話が必要です。こうした異分野・異業種間での対話を可能とするため、本講義では、相手に伝わる論理構成の仕方、自分や相手の意見の妥当性の判断の仕方等を学びます。

ソーシャル インパクトビジネス

Social impact business

アジアビジネス戦略とグローバル共創

ヘルスケア

高齢社会のまちづくり

川井 直 客昌教授

Healthcare management

本講義では、経済のフレーム・オ

ブ・レファレンスを再考しながら、

新時代における地域経営と産業

連関のモデルを検討する。新たな

産業を創造して地域の内発的発

展をつくり出し、これからの時代の

要請に応える、キーパースンとな

るべき人材の育成を目指す。

佐藤 勝彦 特任教授

文化の多元性を受け入れ、多様な 知のやり取りの中から新しい価値 の創造が生まれる。知とは何か、 言語とは何かという根源的な問い から、グローバル経営の現場での リーダーシップ、コミュニケーショ ン、人材育成などの実践知まで幅 広く学ぶ。

▶ 医療·介護経営I

真野 俊樹 特任教授

本講座は、学生に主体的に参加してもらう講座である。最初に教員から業界の展望を話し、その後実務に詳しい外部講師を招聘した授業を2回ほど行い、最後に、それまでの議論を踏まえて、参加者にPPTで発表してもらい、内容を深めていく授業である。主に、業界の展望を考える。

Business Communication for Global Leaders

企業もビジネスパーソンも、その

信頼は効果的なコミュニケーショ

ンから生まれます。このコースで

は、現役ジャーナリストがグロー

バルに通用するメッセージを効果

的に発信する手法を伝授します。

わかりやすい英語で授業をします

ので、挑戦してください。

マーク・オースティン 客員教授

▶ 医療・介護の成長戦略

末松 清一 客員教授

超高齢化社会の到来を控え、医療・介護組織のマネジメント力や 戦略の脆弱性が指摘されている。 医療・介護分野を成長産業と捉え、 組織を戦略的に成長させるため にはどうあるべきか、理論と先進 事例研究などを演習やグループ ワークを通じて実践知として学ぶ。

▶ 日本の製薬企業の未来

佐々木 弘明 教授

日本は世界第三位の新薬創生国。 アジアで日本が唯一であり、世界 中で高い評価を得てきました。研 究開発費の増加等、新薬創生の難 易度は上昇しています。ips細胞や 再生医療の出現から、製薬企業の 未来を探求する。

ソーシャルビジネス演習

田中 勇一 客員教授

イノベーションの種は必ず自分の中にあります。この演習では、事例を学びつつ、心の奥底にある「やむにやまれぬ思い」を引き出し、その志をでジネスの手法を用いて持続可能な形にすることで、自分にしかできないイノベーションを生み出すことを目指します。

トライセクターリーダー論

金野 索一 特任教授 今や社会に不可欠となったトライセク

ターリーダーとは、3つのセクター(政府、企業、NPO)全てに通用するマネジメントを実践するリーダー、あるいはセクターの枠を越えて、良き社会を実現していくリーダーである。先駆者たちのケースや実践ノウハウを学びトライセクターリーダーを輩出する。

21

※科目名および担当教員については、変更となる場合がございます。

厚生労働大臣より「専門実践教育訓指定講座」として認定

多摩大学大学院MBAは、厚生労働大臣より「専門実践教育訓練指定講座」の認定を受けております。本学にて指定講座を 受講し一定の要件を満たす場合最大112万円がハローワークより支給されます。

▶ 実践を通して学ぶソーシャルビジネス

宮城 治男 客員教授

震災により「世界の課題先進地域」 なった東北。そこは同時に、全国か らリーダーが集う、イノベーション のメッカとなりつつある。その最前 線を訪問し、3日間で学び、ともに 未来を描く。ソーシャルリーダーと して、各人なりの一歩を踏みせる 契機としたい。

テクノロジー& ベンチャー

Technology and Venture

▶ IT・AIビジネス創出演習

金野 索一 特任教授

IT/AIを活用した現実の新規事業 をプランニングし、日本を代表す る現役のITベンチャー起業家と 投資家へ事業提案を行う。その提 案を诵じて理論と実践を往来し、 その結果によっては、実際の起業 あるいは社内起業に繋げていく。 まさに、IT分野における最先端の ビジネス創出の実践の場とする。

▶ ベンチャー企業論

濵田 降道 客員教授

産業革命以降、世界経済は様々 なイノベーションにより経済成長 を続けてきたが、これらは限られ たベンチャー企業によることが 多い。こうした企業群の特性、生 み出す環境、制度等を分析すると とで、我が国ベンチャー企業の発 展の方向を展望する。





▶ ベンチャーCFO養成講座

新村 和大 客員教授

各回に実務家・専門家を招き、ベンチャー における機関設計、事業計画の策定、資 本政策などを体系的に学びます。創業期 から急成長期までの企業ステージ、初期 ラウンドの資金調達から売却までと対象 とします。ベンチャー企業のCFOとして活 躍を目指す方にオススメの講義です。本 講は日本CFO協会の寄付講座です。

▶ 最新テクノロジーとAIの世界

金野 索一 特任教授

この講座は最新技術を学ぶのでは なく、AI(人工知能)革命によって、 多くの仕事が消失するといわれる 中、目的・価値そのものを創り出す 文系知により、理系知=最新技術 (AI、ロボテックス等)を、自分のビ ジネス、企業、そして社会や人間の ためにどう活かすかを探究する。

▶ プロジェクトマネジメントの基本と応用

中分 毅 客員教授

プロジェクトマネジメントの教科 書を読んでも肝腎なところは良く 分らないのが現実です。建設・都 市開発プロジェクトを事例にした がら、内外の最新の知見も取り入 **れて**. プロジェクトマネジメントー 般において有用な発想や態度を 具体的に講述します。

ルール形成戦略

Rule-Making strategy

社会課題を解決するイシューエ 場へのルール形成アプローチを 理解し、事業成長に応じて社会 課題解決力も高まるビジネスモ デルが構想できるようになる。

ソーシャル・ファイナンス

小林 立明 客員教授

多様化する社会的課題の解決には、新 たなファイナンス手法が求められる。 本講座では、近年、欧米で発展している 「社会的インパクト投資」を中心に多 様なソーシャル・ファイナンス手法を取 り上げ、基本概念の紹介、ケース・スタ ディ. 政策枠組みの概観等を诵じて日 本における発展の可能性を検討する。

▶ ITビジネス原理と先端戦略

金野 索一 特任教授

"イノベーションの源泉は、テクノロ ジーとリベラルアーツの交差点にあ る"最新の IT ビジネス原理と戦略の理 解を通じて、業種、職種の枠を超えて、 ビジネスセクター全体を俯瞰した視 点・ノウハウを学ぶことで、自分自身の イノベーションの実践につなげ、キャリ ア戦略・ビジネス戦略を明確化する。

▶ 日本のモノづくり経営

柿内 幸夫 客員教授

製造業の経営は、経営者が経営戦 略、方針、方策を適切に示すこと だけでは不十分で、管理監督者・ 作業者が現場改善力を駆使して それらを自ら実行できなければな らない。本講座では、後者の現場 管理および改善活動面により重点 を置き製造業の経営を解説する。

社会課題起点のルール形成戦略

國分 俊史 教授

コシステム設計とグローバル市

▶ 街づくり最前線

長鳥 剛 教授

主に多摩エリア、神奈川エリアを フィールドに、行政や企業、NPO などが実践しているまちづくりの ケーススタディを诵じて、「つなぐ 力 | を軸に多彩なステークホル ダーによるこれからのまちづくり を老察する。

▶ 先端ITマーケティングイノベーション

橋本 大也 客員教授

ビッグデータ、人工知能、IoT、 SNS、スマホ、3Dプリンター 最新のIT技術がビジネスイノ ベーションにどのようにつながっ ていくのか、ITベンチャーを自ら 創業LIPOさせた起業家でもある 教員が、実例を多数交えながら展 望していく。

実践事業創造

鱼井 省吾 客昌教授

事業創造のためのシーズ獲得 について、その探索プロセスに フォーカスし、経営学、情報学か らの検証を加えることで、「点と点 を繋ぐ | 構造を明らかにすること を主眼とする。理論講義の他、実 際の事業プロジェクトにも当たる ことで、実践力涵養を企図する。

▶ 経済連携協定(FTA・EPA)と経営戦略

羽牛田 廖介 客昌教授

TPPをはじめとする経済連携協 定・白中貿易協定がビジネスに 与える影響を詳細に理解し、効果 的な対応により企業収益を即座 に上げる手法を身につける。

▶ 安全保障経済政策論 | • ||

井形 彬 客員教授

米国リバランス、人権外交、自然 災害対処、北極海航路などにつ いて、国家間の外交事項として傍 観者になるのではなく、経営戦略 の機会に転じていく能動的関わ り方の視座を持つ。

フィールドワーク -

▶ 議員事務所でのインターンシップ

國分 俊史 教授 / 福田 峰之 客員教授 国会議員または地方議員の事務 所で議員および議員秘書と一緒に 地盤創り、政策を構想していくた めの視察や地域での意見交換、部 会での討議などを一定期間同行 およびサポートすることで、政治家 の活動を深く理解し、政治家との 関係作りや連携方法を理解する。

教養基盤

▶ インターゼミ(寺島実郎学長ゼミ) | ~IV

寺島実郎学長主宰の塾形式ゼミ。学部・大学院を

横断した複数の学生チームが、現代社会の抱え

る様々な課題についてグループ討議、文献調査、

フィールドスタディ等によって仮説の検証と考察

を深め、それらを体系的な論文にまとめて課題

解決の提言を行う。アジアダイナミズム、多摩学

う5つのテーマで研究活動に取り組んでいる。

サービス・エンターテイメント、AI、地方再生とい

全 美徳 教授

本質思考力

政治内部の視点に基づく議院内閣制度に

議院内閣制度の下、法律が出来上がるプロ

セスは、国会の審議だけを見ても理解するこ

とは出来ない。政党内議論、与党間協議、与

野党間協議。こうした国会での議論以外の過

程を理解すると共に、政党がルール作成の

為にいかに必要な情報を入手し、ルール改

廃を望む組織と繋がっているのかを学ぶ。

▶ ルール形成戦略研究所でのインターンシップ

研究所で取り組んでいる各ルール

形成研究会の運営をサポートし

ながらルール形成の現場を学ぶ。

合わせて日本が取り組むべきルー

ル形成アジェンダの発掘から、仕

掛けていくうえで有効なルール

の切り口をデザインし、研究所の

教授陣へプレゼンを実施する。

國分 俊史 教授

おける公的ルール形成プロセス

福田 峰之 客員教授

Liberal arts

▶ フィールドスタディ I ~IV

全 美徳 教授

実践知・修士・博士論文の作成に資するフィール ドワークや学内外のプロクラム・セミナー・地方 実習・海外研修などでの学修成果に対して単位 を認定する。

ルール形成戦略研究所特別講義

ルール形成戦略研究所

ルール形成力を国家レベルで高 めるために政治、官庁、学会、民 間企業の立場で取り組まれてい る最先端と活動とより発展させ ていくために必要な日本の構造 改革のポイントを理解する。

▶ ルール形成のためのメディア戦略

岡田 宏記 客員教授

現代の様々な社会制度が形成さ

れた経緯とメディアが果たした 役割を理解する。今後の社会課 題の解決に向けてメディアの足 らざる点と為すべきことを学び、 未来に向け具体的な施策をも構 想できるようになる。

ビジネス実践知探究

佐藤 勝彦 特任教授 + 編集工学研究所 松岡正剛氏が主宰する編集工学 研究所のビジネスリーダー育成

塾をベースとした実践的教養講 座。ビジネスの最先端で活躍する 塾牛が古今東西の知の世界を"編 集"という方法を涌してどう実践知 に落とし込み、現場に活かしてい るかを演習も併せながら学ぶ。

▶ 問題解決学 | • ||

下井 直毅 教授

問題解決の最前線に立つ力の育 成のためには、様々な問題にどう 挑み、解決するかを修得する必要 がある。この目的から、この科目で は毎回異なる教員が様々な分野 のテーマを取り上げ、「その問題を どう解決するか」などを、事例や方 法論の立場から解説する。

▶ 論文演習

徳岡 晃一郎 教授, 今泉 史 教授, 宇佐美 洋 教授, 河野 龍 太教授、國分俊史教授、紺野登教授、佐々木弘明教授 巴特尔教授、田坂 広志 名誉・特任教授、真野 俊樹 特任教授 多摩大学大学院の目玉である実践的論文を 約1年かけて仕上げていくゼミです。専仟教授と 膝を突き合わせながらマンツーマンで学ぶと ともに、ゼミ仲間からの厳しい指摘を受けて、自分 の人生の一里塚を構築。世界が大きく変わる体験 を楽しんでください。

Foreign students support

▶ 留学生のための日本経済・経営基礎

佐藤 勝彦 特任教授

日本の経済、産業および経営に関 する基本的な知識を獲得すること により、履修する科目の理解を深 める一助とする。

留学生のためのビジネス日本地理・ 日本史基礎 I・II

瀧川 浩人 特別講師

グローバル化を意識した中で、自 然と人間社会・国際社会との関わ りを基盤に、日本の歴史的背景 を踏まえた日本地理で得た知見 を「知恵」とし、日本企業で活躍す る上での「構想力」「想像力」「解決 力」を醸成する。

▶ ビジネスジャパニーズI・II

藏夛 礼佳 客員教授

本講義は、日本語での口頭発表と 討論の技術を身につけること、ア カデミック・プレゼンテーション・ スキルを身に着けることを目的と

▶ 論文スタートアップ I・II

劉 麗娜 客員教授

大学院の2年間は束の間です。新しい知 識や考え方を取り入れながら、これから の人生に大きく役立つ思想を身につけ ていただきたいです。論文は2年間の集 大成であり、指針でもあると思われます。 ここでじっくり考えた課題を、試行錯誤を 繰り返し、一生涯を貫く目標を見つけて 知行合一を追求していきましょう!

留学生支援

※科目名および担当教員については、変更となる場合がございます。

た を可視化する修士論文は、人生の宝もの

本学では、在学生が実際に直面しているビジネスに関連するリアルな課題を研究テーマに、イノベーターシップの総仕上げ として、専任教授とともに実践知に根ざした本質探究&問題解決型の研究論文に取り組みます。2年間の学びを自分の血肉化 し、修了後の人生を飛躍させる知の宝が得られます。

修士論文・実践知論文 優秀論文賞テーマ

(2019年修了者)

「中国・陝西省の「農家楽」と地方経済の活性化に関する一考察 ~日本の道の駅システムとの比較を通じて~」(修士論文) 「自律型組織のための大偏差値サラリーマンからビジネスアダルトへ」(修士論文)

「日本のミドル世代における大学院での学び直しと阻害要因 副題:不確実性と学び直しコスト、利用可能性の実証研究」(修士論文) 「何がしなやかマインドセットを育むのか ーコーチングプログラムMBB for kidsの効果測定を中心としてー」(修士論文)

「企業内教育研修における「場」の活用に関する研究ー「研修転移」を超えるための教育研修担当者の働きー」(修士論文)

「中国における声優ビジネスの事例分析:スマホゲームの日本人声優起用について」(修士論文)

「介護領域における身元保証人問題について〜身元保証会社の可能性とその社会的意義〜」(修士論文)

「飲食店舗従事者のモチベーション向上のための職務特性から見た方策の研究」(実践知論文)

「歓楽街を持つ地域の安心なまちづくりモデルの創出」(実践知論文)

「フィットネスクラブ非消費者層シニアに対応する新たなビジネスモデルの提案」(実践知論文)

「企業見学ビジネスモデルの構築によるミドル・シニア世代のセカンドキャリア就業支援」(実践知論文)

TOPIC | 多摩大学大学院修了生が書籍を発行!



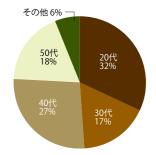
多摩大学大学院は、志ある「知的プロフェッショナル」のための ビジネス書「出版型」研究論文を出せる、わが国唯一の大学院です。

株式会社フロンティアコンサルティング 代表取締役 上岡正明

私は、27歳より広報やブランディングのコンサルティング会社を経営しています。上場企業の支援を中心に、多くの実例や ノウハウがあります。そのため、私は多摩大学大学院に入学する前から、これらの内容を論文にしたあかつきには1冊の本 にまとめて出版したいと望んでいました。偶然、興味を示してくれている出版社もありました。そのことを担当教授に相談す ると、心から応援してくださり、論文もあえて読者に語りかけるようにすることも快諾してくれました。現在、こうして無事1冊 の本として、書店に並んでいるのを見ることができるのも、ご指導くださった教授、大学院の諸先輩方のおかげです。感慨

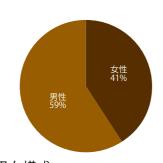
DATAでみる多摩大学大学院

現実の問題の本質的解決に役立つ実学を学ぼうという社会人が年齢や分野を超えて、集まっています。



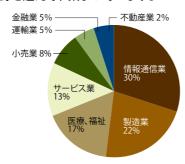
年齢構成

もっとも多い層は20代ですが、40代・50代の層 点が多摩大学大学院の特徴です。



男女構成

女性の社会進出の拡大にともなって、ビジネス における管理者・経営者・起業者を目指す女性 が増えています。



業種別構成

多摩大学大学院では、学ぶ院生の業種・職種も 実にさまざまです。近年は、在学中や修了後に 白らビジネスを起業される方も増えてきています。

Message from Faculty

講師陣からのメッセージ ~ イノベーターシップを学ぶ極意~



志、智恵、人間力を併せ持つ 社会起業家を育成します

多摩大学大学院の建学の精神は、この社会の生々しい現実と格闘し、粘り強く、その変革を 実現できる人材の輩出です。しかし、その人材とは、ただ一分野に秀でたエキスパートやスペ シャリストではありません。そうした専門家の叡智を束ね、目の前の現実を変革するプロジェ クトや組織、企業を統括し、牽引できる人材こそが、いま求められています。それは、言葉を換 えれば、思想、ビジョン、志、戦略、戦術、技術、人間力という「7つのレベルの知性」を垂直統合 して行動できる「スーパー・ジェネラリスト」の育成に他なりません。そして、このスーパー・ジェ ネラリストが身につけるべきは、単なる「知識」ではなく、「実学」としての人間学や組織学、世 界観や歴史観、すなわち、21世紀の「新たな教養=ネオ・リベラルアーツ」です。そして、この スーパー・ジェネラリストの多くは、必ず、「社会起業家」として「ソーシャル・イノベーション」を 起こしていくでしょう。

東京大学卒業。東京大学大学院修了。工学博士(原子力工学)。米国シンクタンク・バテル記念研究 所・客員研究員を経て、日本総合研究所の設立に参画。取締役・創発戦略センター所長を務める。現 在、シンクタンク・ソフィアバンク代表。社会起業家フォーラム代表。世界経済フォーラム(ダボス会 議)GACメンバー。世界賢人会議ブダペストクラブ日本代表。東日本大震災に伴い内閣官房参与に 就任。原発事故への対策、原子力行政の改革、原子力政策の転換に取り組む。著書は90冊余。

創造経営の「実践知(フロネシス)」の 理論と実践を

イノベーションは、かつてはたまに起きる技術革新といった捉え方をされていましたが、21 世紀の経営にとっては中心的な活動だといえます。顧客や社会の意識やニーズを共感・洞察 して、これまで競争や消費のなかったところに新たな価値の提供を行っていく、個と組織の知 識創造経営の実践なのです。このカリキュラムでは、各テーマのマスターといえる教授陣が理 論と実践の両輪でイノベーション経営のエッセンスを習得する場を提供します。

すなわち、知識創造理論を基礎において、シナリオプランニングやデザイン思考、従来と 異なる価値提供の仕組みとしてのビジネスモデル、ウェブマーケティングなど有効なツール について学べます。リーダーが周囲を巻き込む目的を掲げて駆動するといった、人間としての 「賢慮」や組織文化の理解も重要です。さらに経営戦略や経済学の観点からも考えること。こ れらが、みなさんのイノベーターとしての実践に役立つものと思います。

多摩大学大学院教授、知識イノベーション研究所 (KIRO) 代表、一般社団法人Japan Innovation Network代表理事。 組織や社会の知識生態学(ナレッジエコロジー)をテーマに、リーダーシップ教育、組織変革、研究所などのワークプ レイス・デザイン、都市開発プロジェクトなどの実務にかかわる。著書に『ビジネスのためのデザイン思考』、『知識デ ザイン企業』、『利益や売上げばかり考える人は、なぜ失敗してしまうのか(目的工学)』野中郁次郎氏(一橋大学名誉教 授)との共著に『知力経営』、『知識創造の方法論』『知識創造経営のプリンシプル』、『知識経営のすすめ』などがある。



「思い」を持った人材こそ 知識創造の原点

日本は今、世界がどんどんと結びついて共創するグローバルイノベーション時代のなかで次第に 影が薄くなっています。もっと強いリーダー、もっと活性化した組織、もっと深く考える風土が必要で す。それを阻んでいるのが短絡的な成果主義人事制度です。その問題はもう何年もの間、叫ばれて きましたがまだ一向に改善されていません。むしろ欧米流の競争原理に基づく成長至上主義の前 に組織の疲弊感は高まっています。

この打破のためには新しい人事とリーダーのありようを日本発で提示していかなくてはなりませ ん。そして知識創造企業(Knowledge-creating company)に企業を転換していかねばなりません。 当学では、成果主義に代わる新しい人事制度のコンセプトであるMBB (Management by Belief: 思 いのマネジメント)を軸にして、リーダーシップ、人事制度、組織論、コミュニケーション、企業風土、ス トレスマネジメントなどを学習することで、活力あるグローバル組織を創る知恵を学びます。

東京大学教養学部国際関係論卒。日産自動車人事部、欧州日産を経て、1999年よりコミュニケー ションコンサルティングでは世界最大手の米フライシュマン・ヒラードの日本法人のSVP/パート ナー (株)ライフシフトCEO。人事制度、風土改革、社内コミュニケーション、レピュテーションマネジ メント、リーダーシップ開発などに従事。2006年より多摩大学大学院を兼務。著書に『MBB:思いの マネジメント』(野中郁次郎教授、一條和生教授との共著)、『イノベーターシップ』など多数。





Kono Ryuta

顧客中心経営の基軸、イノベーションと マーケティングの本質を学びます

「企業の目的は、顧客の創造である」。マネジメントの創造者であるドラッカー氏はこう指摘しま した。さらに、そのための2つの基本機能として、マーケティングとイノベーションをあげています。 「顧客の創造」こそ、経営の本質。その目的に直接成果をもたらす意味で、マーケティングとイノ ベーションは経営そのものといえるでしょう。逆に、「顧客の創造」機能が弱体化すると、企業の成 長は望めません。長く続く日本企業や日本経済の低迷の本質的な問題もここにあります。今必要な のは、マーケティングとイノベーションを連動させた顧客創造力の強化と戦略自体の進化です。

当カリキュラムでは、ビッグデータなど最先端のテーマを織り込み、成果を上げるリーダーに とってパワフルな武器となる「顧客創造の経営戦略」の新しい枠組みと理論、現場で鍛えた実践知 を身につけることができます。21世紀のリーダーに必須の経営戦略とスキルをぜひ一緒に学びま

博報堂、博報堂ブランドコンサルティング、ITベンチャー数社の経営参画を経て、イノベーション&マーケティン グの戦略コンサルティング会社、(株)インサイトリンクを設立、代表取締役社長。世界で最も影響力のある経営 思想家を選ぶThinkers50 (2015)にも選出されたイノベーション戦略の代表的指導者アレックス・オスターワル ダー氏がCFOを務めるStrategyzerの日本人唯一の公認トレーナーとして、国内外企業の戦略プロジェクトや人材 トレーニングを多数支援。早稲田大学法学部卒業。英国ウォーリック大学経営大学院でMBA取得。長崎市出身。

ビジネスの「血液(ファイナンス)」と 「骨格(法律)」を学ぶ

経営のしっかりとした基盤づくりの新しい方法として、「血の巡りのよい健康な組織体」のためのファイ ナンスと、「ビジネスの足場づくりとしての法律・制度」の設計方法とを結びつけて一緒に考えましょう。

ファイナンスでは、資金調達、投資政策、事業や資産の評価、コーポレートガバナンス、リスクマネジメ ントの最新の手法を中心に、昨今、日本企業でも生き残りのための不可欠な戦略となっている合併・買収 や組織再編についても深く考えます。

さらに、まったく新しい切り口で制度や法律のしくみを広い視野から理解し、環境の激変に対応してビ ジネスの足場・土俵を設計するためには、従来の法律の勉強のような実定法の条文や判例の解釈ではな く、経済学やファイナンスの切り□をつかって「なぜそのような制度があるのか?」という視点を獲得し、そ れを実際の組織づくりに応用してみましょう。

ファイナンスと法律の勉強というと、とかく難しそうなイメージや固いイメージが先行しますが、本学の 授業では、「目から鱗が落ちる」新しい体験が連続し、いままで知らなかったわくわくするような世界の見 方が広がっていくことを実感できます。

東京外国語大学卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士。国連世界食糧計画(WFP)企画担当 官、保険担当官、特別顧問を歴任。一橋大学商学部客員教授、青山学院大学大学院客員教授、2004 年4月より多摩大学大学院教授。専門は金融、法と経済学、統合リスク管理。



ビジネスの問題解決に データを活かせるビジネスパーソンへ

それは、データをもとにして、ビジネスの「なぜ?」に答え、みんなを「どうしてか」を説得し、「な るほど」と納得させて課題や問題を実践的に解決することができる力です。

ビッグデータ業務は垣根なく出現し、その結果ビジネスや社会をよりよくするために、ビッグ データをもとに考え意思決定を行うことは必然となりました。

ビジネスでの課題解決・問題解決において、デジタルビッグデータを利活用することは当然 になりましたが、ビジネスの現場での課題解決や問題解決には結びつかないことがあります。 それは、ビジネス現場で何が問題になっているかという「ビジネスの理解」、「データの背景理 解」ができる力が重要だからです。

デジタル経営フィールドでは、ビジネス現場に携わるすべてのビジネスパーソンにこそ、ツー ルを活用しながら「データの背景理解」ができる力をもとにしたデータサイエンス力を修得し、 現場での課題解決のために解決策を提案して実施できるITプロジェクトマネジャー・デジタル マーケター・データエンジニア・データサイエンティストなどになってほしいと考えています。

立教大学社会学部産業関係学科卒。立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修 了(社会学修士)。東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻博士後期課程単位取得 満期退学。青山学院大学理工学部経営工学科助手を経て、多摩大学助教授・大学院助教授。平成7年 多摩大学教授・大学院教授。平成13年より経営情報学部学部長を経て現職。日本行動計量学会理事。



國分 俊史 Kokubun Toshifumi

社会課題を市場化するのは ルール形成戦略力である

これからのグローバル経営では、社会課題解決力をビジネスモデルに組み込み、自社の成長に比例して社会課 顕解決力を高めていくことが不可欠です。また、地政学リスクの高まりを受けて通商政策や安全保障経済政策に対 して企業はこれまでとは比較にならない次元で能動的な関与、戦略的な対応をしていかなければなりません。

ルール形成戦略は社会課題解決力に秀でた製品・サービスの開発、バリューチェーンを構築し、それが必要と される秩序を創り出すダイナミックな戦略です。実行フェーズでは政府、国際機関、NGO、政策シンクタンク等と連 携して新たなルールを政策という形で具体的にデザインし、新たなエコシステムへと産業を革新していく複雑な 利害関係者のマネジメント力が必要となります。

ルール形成戦略はルールに落とし込む力がなければ単なる評論家です。世界各国の政策決定プロセスの理解 はもちろん、ルール形成に影響力を有する組織や個人との繋がりを地道に築き上げていくことが必要となります。 構想から実行まで一貫したスキルを築き上げるために、座学で理論を体得し、フィールドワークで実行力が得られ るカリキュラムとなっております。

多摩大学大学院 教授 ルール形成戦略研究所所長、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング 執行役員、パシ フィックフォーラム シニアフェロー。早稲田大学大学院公共経営研究科修了。IT企業の経営企画、シンクタンク、A.T. カー ニープリンシパルなどを経て現職、社会課題起点のルール形成戦略の第一人者として通商政策の支援や政・官・民連 携によるイシューエコシステム作りを様々な社会課題について推准。また、社会課題が安全保障に係るテーマである ことからも、安全保障経済政策のアドバイザーとして政府の委員等も歴任。日本企業の弱みである安全保障経済政策 やルール形成を切り口としたグローバル戦略の立案から世界各国のポリシーメーカーとの連携まで取り組んでいる。

座右の銘は「苦中作楽」 明るく楽しく深くダイアローグしましょう

これまで4社の上場企業を経験してきました。幸いにも、MBAの肝となる銀行員としての経営戦略、製薬 としての人事戦略の両方を経験し、実践と理論を学ぶことが出来ました。現在、これまで世界を席巻して きた日本的経営の分岐点が来ています。終身雇用制の崩壊、早期退職制度、働き方改革、それに対応する パラレルキャリア、リカレント教育、ジェロントロジー。

一方制度面では出向制度、二重就労許可等々。

また人生100年、仕事人生80年が注目され、年金だけでは2,000万円足りないという現代社会において、 何を学びどう生き抜くのか

働きがい、生きがいの再構築が必要であり、学び続けることの重要性に気づいた方に対して、これまで の産官学のネットワークと波乱万丈の経験豊富な私ならではの唯一無二の授業を展開していきます。

皆さんとダイアローグできるのを楽しみにしています。

神戸大学大学院経営学部修了。北海道拓殖銀行の破綻経験、藤沢薬品の合併経験、アステラス製 薬(総合教育研究所)の「明日は変えられる」プロジェクト、コーチングアワード受賞(2010年)、田辺 三菱製薬のキャリア形成支援厚生労働大臣賞受賞(2014年)経験あり。経験を理論に、理論を実践 にがモットー、個人・組織・社会の三方良しが教育方針。神戸大学大学院金井壽宏教授に師事し、コ ミットメント、モチベーション・キャリアが専門分野。



-----目 ▶経営者の志と実践知、企業経営理念、日本の製薬企業の未来 他

27

第一線の実務家をゲストスピーカーに交えての積極的な議論の場としていきたい

"これからの世界の金融は社会的投資にシフトする"2015年に国連がSDGs (Sustainable Development Goals)を提唱して以降、金融の国際的潮流は、社会的価値の実現を目指すソーシャルインパクト投資の方向に大きく舵を切っています。多摩大学では、多種多様な社会的課題を、民間資金の活用を通じて解決するソーシャルファイナンスのエコシステム構築に資するシンクタンクとして、社会的投資研究所を設立しました。同研究所では、国内のみならず、グローバルな専門家ネットワークを形成するため、アジア・ベンチャー・フィランソロピー・ネットワーク (AVPN) と提携しました。同研究所を中心とするソーシャルインパクトビジネス領域での活動を通じて、大学院はソーシャルビジネスにおけるソートリーダー (thought leader) としての地位を確立していきます。

堀内 勉 Horiuchi Tsutomu

担当科目 ▶ 非営利法人のファイナンス

多摩大学社会的投資研究所教授・副所長。東京大学法学部卒業、ハーパード大学法律大学院修了、Institute for Strategic Leadership(ISL)修了、東京大学 Executive Management Program(EMP)修了。日本興業銀行、ゴールドマンサックス、森ビル・インベストメント マネジメント社長を経て、2015年迄森ビル取締役専務執行役員CFO。至善館大学院理事、田村学園理事・評議員、麻布学園評議員、社会的投資推進財団評議員、立命館大学稲盛経営哲学研究センター「人の資本主義」研究プロジェクト・ステアリングコミッティー委員、日本CFO協会主任研究委員 他。



医療を中心に介護や医療周辺産業の状況を分析し、現業に生かす

医療介護分野は、21世紀の成長分野として期待されています。また、医療費用、介護費用の高騰からイノベーションが期待されている分野でもあります。もちろん、命や人権に関わる分野ですので、特殊な領域ではあります。しかし、「特殊だから****」という固定観念で考えるのではなく、「特殊だが、***という方法があるのではないか」という視点で物事を考えられる人材が、医療介護分野では必要なのではないでしょうか。医療介護分野では、このような視点を持って、通常の産業分野と医療介護分野の橋渡しをしていくような講座構成になっています。みなさんの成長の機会が間違いなくあります。みなさんのご入学を期待しております。

真野 俊樹 Mano Toshiki

担当科目 ▶医療・介護経営・・・・ 医療・介護マネジメントの実践知、論文演習

1987年名古屋大学医学部卒業。医師、医学博士、経済学博士、総合内科専門医、MBA。臨床医、製薬企業のマネジメント、大和総研主任研究員などを経て、多摩大学大学院特任教授。中央大学大学院教授、厚生労働省独立行政法人評価有識者委員などを兼務。医療・介護業界にマネジメントやイノベーションの視点で改革を考えている。

日産の外国人経営層に数々の企画、提案をうなずかせたロジックの秘訣を伝授!

クリティカルシンキング (批判的思考、論理思考) は、企画・提案や課題解決などあらゆるビジネスのベースとなるスキルです。全ては相手を説得することから始まり、実践する際に最も効果や効率の高いソリューションを導き出すために必要な思考法と言えます。本クラスでは個人の論理思考だけでなく、それをグループや組織の中での意思決定に活用するためのロジカルファシリテーションにまで発展させます。

柏木 吉基

Kashiwagi Yoshiki

担当科目 ▶ クリティカルシンキング

慶應義塾理工学部卒、米国Emory University MBA。日立製作所、日産自動車を経てデータ&ストーリー代表。企業の課題解決や変革を実務経験者コンサルとしてサポート。日産では海外部門、組織開発部ビジネス改革チームマネージャ等を歴任。グローバル組織の中で、社内変革プロジェクトをリードし、経営課題の解決、新規事業の提案等、数多くの実績を持つ。ビジネス誌連載、ビジネス書著者でもある。





ベンチャー、大企業、そして個人の視点で起業家精神を

ベンチャー企業、大企業の新事業(新製品・サービス、事業転換を含む)など事業創造のための基礎としての知識、技術、思考法を学ぶ。対象は、起業家、社内起業家からチーム・メンバー、投資家、支援者まで事業創造に関わる、あるいはそれを志す人。 講義と文献による理論的バックボーン習得とともに、新事業の立案や既存事業への戦略的代替案の策定を試み、仮説構築とその検証に取り組み、受講生による発表とディスカッションなど実践的な演習を行う(個人演習、グループ演習、ゲスト講義を含む)。併せて、自己の経営スタイルと着眼点、発想の再確認と進化を図る。

本荘 修二

Honjo Shuji

担当科目 ▶実践アントレプレナーシップ

本荘事務所代表(経営コンサルタント)。新事業を中心に日米の企業アドバイザーを務める。500 Startups、Founder Institute、始動ネクストイノベーター他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。ボストン・コンサルティング・グループ、米Computer Sciences Corp、CSK/セガ・グループ大川会長付、「「特化の投資育成会社General Atlantic日本代表などを経て、現在に至る。東京大学工学部卒業、ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士(学術:国際経営)。

社会の変革に挑むリーダーに学び、 自らのビジョンと戦略を磨く

被災地などの地域の現地を訪問し、各地域、領域で課題の解決、あるべき姿の実現に挑んでいくリーダーのケースや、その在り方に学ぶ。同時に学生同士が自らの在り方に向き合い、今後のキャリアビジョンやビジネスプランを磨いていく 契機としたい。

宮城 治男

Miyagi Haruo

担当科目 ▶ 実践を通して学ぶソーシャルビジネス

早稲田大学在学中の93年、ETICを創業。若い世代が自ら社会に働きかけ、仕事を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組む。2001年より「社会起業家」の育成にフォーカスし、ETIC、ソーシャルペンチャーセンターを設立。日本初の社会起業ビジネスプランコンテストSTYLE、社会起業整イニシアティブ等を手がける。これまで500名以上の起業家の創業を支援。04年からは、地域における人材育成支援のチャレンジ・コミュニティ・プロジェクトを開始、現在全国60地域に広がる。11年から悪災復興支援に注力し、「右腕プログラム」では東北の100を越えるプロジェクトリーダーのもとに215名のスタッフを送り込む。2011年、世界経済フォーラム ヤング・グローバル・リーダーズに選出。文部科学省参与。



事 戦 市場 る力で 理解に るテク

事業成功のための 戦略的ウェブマーケティングを習得する

市場環境の変化にいかに対応するか。これは民間企業だけでなく、行政やNPOなど非営利法人においても同様に必要となる力であり、身につけるべきスキルとなります。消費者のライフスタイル、価値観の変化、競合、自然環境の変化をいかに捉え、理解し、マーケティングのベーシックな部分と新たに取り入れるべき部分を最適な形に創り上げるかが重要です。変化・進化するテクノロジーと消費者心理の理解を通じて、自らの事業の最適解を自ら創出する力を手に入れていただきたいと考えます。

土屋 有

Tsuchiya Yuu

担当科目 ▶ Web マーケティング戦闘

現在、国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部 講師。土屋有事務所代表。株式会社アイレップ取締役、面白法人カヤック事業部長、株式会社アラタナ取締役。ほか数社のITベンチャーの役員を経験。SEMからゲームまでB2C、B2Bのウェブマーケティングを担当。ウェブマーケティング・コンサルタント。多摩大学大学院経営情報学研究科修了。

専門家任せではなく、 システム全体のコミュニケーションを

「『餅は餅屋』で専門家に任せておけばよい!」といっても、頼みの専門家の妥当性を判断するためには対話が必要です。こうした異分野・異業種間での対話では、取り組む仕事への考え方の違いから、知らない間にすれ違いが起こることがしばしばあります。自身の目的に対し専門家の効果を最大化するため、または、他業種で編成された組織の成果を最大・最適化するため、本講義では、相手に伝わる論理構成の仕方、自分や相手の意見の妥当性の判断の仕方等を学びます。

白井 雅弓

Shirai Ayumi

担当科目 ▶異業種間のコミュニケーション術

東京医科大学医学部医学科卒。東京大学大学院医学研究科内科学専攻(医学博士)。HEC Paris MBA取得。日本内科学認定医、日本透析学会専門医認定。





政治行政・企業・NPO の枠、理系・文系の枠を越える イノベーターが必然の時代

イノベーションは、「既存の知見」と「技術」との"新しい組み合わせ"により生まれ、その源泉は、リベラルアーツとテクノロジーの交差にあります。急速なAI・IT革命の最中において、目的そのものを創り出す文系知により、自前の課題・人類社会の課題を明らかにし、理系知=最新技術を、自分のビジネス・仕事、そして社会や人間のためにどう活かすかを探究し、実践準備をすることで、まさに政治行政・企業・NPOの枠を越えると同時に理系・文系の枠も越えるリーダーシップ・マネジメントを学び、イノベーションの実践力を獲得します。

金野 索一

Konno Sakuichi

29

担当科目 ▶ トライセクターリーダー論、IT ビジネス原理と先端戦略 他

コロンビア大学国際公共政策大学院修士課程修了。日本政策学校学長、NPO法人エドテックグローバル代表理事、(株) ピーステックラボ会長、公益財団法 人東京コミュニティ財団評議員。過去に(株) プレークスルー代表取締役(政策学校・新塾と起業学校アタッカーズ・ビジネススクールの運営会社)、(株) 大前アンドアソシエイツ・パートナー、(株) ビジネスプレークスルー取締役等を歴任。主な著書『未来の選択』(ディスカヴァー21社)、『ネットビジネス勝者の条件』(ダイヤモンド社) 他。主な連載『トライセクターリーダーの時代』(日経ビジネス・カンパネラ)、『出でよ! Peace Tech イノベーター』(日経ITプロ) 他。

ヒストリー、ストーリー、エディティングで学び方を学ぶ

VUCAな経営環境の中で、時代を切り拓いて行くイノベーターに求められるのは何を学ぶか以上にどう学ぶかが重要になって来ているのではないか?担当する講義では、ヒストリー、ストーリーそしてエディティングに焦点を当てディスカッションを深めたい。現在と過去との尽きせぬ対話の中から歴史の捉える力を育むと同時に近年の経営の現場で何がどう起きたのか、それをどう乗り切ったのかというリアルストーリーから実践知、経験知の重要性・有用性の理解を深める。何を学んだかは、結局のところ得た知識や経験をその人なりにどうエディティングしたかでもある。編集工学の基礎・応用を学ぶことで教養基盤を確かなものにしたい。

佐藤 勝彦

Sato Katsuhiko

担当科目 ▶アジアビジネス戦略とグローバル共創、ビジネス実践知探究、留学生のための日本経済・経営基礎

横浜市立大学商学部卒、69年日産自動車入社。以降人事部門を中心に経験を積む。イリノイ大学院留学後、米国製造会社、米国設計開発会社の設立に参画。本社人事部次長を経て95年フォードジャパンに転じ、管理本部長、社長、会長を歴任。現在コンサルタント会社代表、フライシュマントラードジャパンSVPなど。



ビジネスにおけるデータ活用の実践方法を学ぶ

今や多くの人々が自身のビジネスにデータを活用したいと考えています。しかし同時に、多くの人がそれに挫折しています。 なぜでしょうか。データ活用に挫折した人のうち、多数を占めるのが、データ分析手法を学ぼうとして数学的知識が追い付かず、あきらめてしまう人です。しかし、ビジネスにおけるデータ活用に必要なのは、データ分析手法より前に、なぜその分析をするのか、分析した結果をどのように利用するのか、を明確にする思考法とそれに基づくプロジェクト設計です。まずは、正しい思考法とプロジェクト設計技法を学び、データ活用の実践力をつけましょう。

ティスト育成コース講師資格、KXEN Professional Certificationを保有。著書に「データサイエンティスト養成読本(共著、技術評論社)」がある。

佐藤 洋行

担当科目 ▶ ビジネスデータ活用実践、マーケティングデータサイエンス基礎

九州大学大学院修了(農学博士)。大学院にてリモートセンシング画像解析の研究に従事し、2008 年プレインパッドに入社し、多くのクライアント企業でのデータ分析プロジェクトにプロジェクトマネージャーおよびデータサイエンティストとして携わる。2014年1月Qubitalデータサイエンス取締役に就任。ダイレクトマーケティング、R&D、テキストマイニングなど幅広い分野でのデータ分析に精通している。EMCデータサイエン

データサイエンスを用いた企業変革力を身にまとう

データサイエンスは手段であり、目的は企業を変革し大きなビジネス価値を実現することです。データサイエンスを用いた企業の変革には、①ビジネス課題をデータサイエンスを用いて解くこと ②データサイエンスの力を活用するためのデータ 基盤を整備すること ③データサイエンスを推進するための組織を立ち上げること ④データサイエンスに関わる高度人材を育成すること の4つが必要となります。これら4つが融合して、初めて大きなビジネス価値を実現できます。当学では、これら4つを自身に関連する企業を用いて具体的に学び、データサイエンスを用いた企業変革が行えるようになることを目指します。

前田 英志

Maeda Hideshi

担当科目 ▶DX 変革:データサイエンスによる企業変革

東京大学大学院修了(機械工学)、一橋大学国際企業戦略科修了(MBA)。専門は技術戦略とビジネスアナリティクス。日本IBM 戦略 コンサルティンググループにて、データ戦略をリード。データサイエンティスト育成道場プログラムを開発し、小売業、製造業に展開。 この取組みは、経済産業省のものづくり白書(2017)に掲載されている。過去IBMの経営企画に所属し、IBMの変革プロジェクトにも参画。IBMアカデミー・オブ・テクノロジーのメンバー。著書に「IBMを強くしたアナリティクス(共著、日経BP社)」がある。



Sato Hirovuki



データとサイエンスによる戦略思考でこれからの企業経営を作る

「まだ誰も実現させていない価値を創造する」、「新秩序の世界で勝ち抜く戦略を立案・実行する」、そんな役割を担うイノベーター、ビジネスリーダーにとって、今やAIやIoT含めデータサイエンスは注目の的です。ですが、新時代を創り出す側に回るためには、ヒトとAIは違う云々と評論家風に延々語っていたり、AIの個別技術を逐一知ったりすれば実現するものではありません。新時代の戦略的意思決定や新規事業創造を我々はどう変えていくのか、実際のビジネスの場に落とし込める実践的な経験知まで皆さんと議論を深めたいと思います。

栗山 実

Kuriyama Minoru

担当科目 > テータトリブンの戦略構造

東京大学理学部卒業、同大学理学系大学院修了(理学修士)。素粒子論・宇宙論を専攻。新卒でマッキンゼー(戦略コンサル)入社、様々な業界の経営 戦略事案に従事。2010年より個人で独立(個人事務所:アンテカニス社)。現在まで、データ分析や市場調査に基づくマーケティング戦略設計、講師、助 言役など。IT・HR・ヘルスケアなどデータ分析技術を活用する複数のスタートアップに参画。その他、非営利活動、学生のキャリア支援活動などに関与。 標榜するのは「Science × Business」。その掛け算から、自然科学の洞察や手法を、ビジネスや社会課題の中で活かす道を追求することを志とする。

ビッグデータの視覚的分析と ビジネスへの応用的・実用的な解析

大容量のビジネスデータを分析するための最低限のスキルを身につけることで、それをデータ分析に活かす為の準備、そして実際の場面で必要な考え方を学ぶ。ビッグデータ特有のデータハンドリング、大容量データのグラフによる可視化、統計的なレポートやプレゼンテーション作成のスキルを修得することにより、応用的・実用的な解析に生かす。

久保田 貴文

Kubota Takafumi

担当科目 ▶ 統計的データ分

岡山大学環境理工学部卒。同大学大学院自然科学研究科修了。平成24年に同大学大学院環境学研究科において博士(学術)を取得。 岡山大学法学部(同大学大学院社会文化科学研究科)助手・助教。統計数理研究所リスク解析戦略研究センター特任助教。平成26年 より多摩大学経営情報学部准教授。日本計算機統計学会評議員、日本分類学会評議員、幹事、大いなる多摩学会副幹事長。



ルール形成による「新たな経済合理性」の創出が社会課題を非連続に解決する

児童労働や環境破壊など国連SDGs (持続可能な開発目標) で解決を目指しているアジェンダは、企業の短期的な利益追求とは相容れないケースが大半です。それ故、今日まで社会課題が堆積してきました。このジレンマを非連続に解決するには、「経済合理性」の新たなイノベーションが必要です。その実現に有効なのが「ルール形成戦略」です。「社会課題解決に繋がるけれど、コストが高くて市場への浸透が進まない」として燻っている商品やサービスに心当たりは無いでしょうか。戦略コンサルティングと政策づくりの両スキルを身につけ、世の中に必要とされるビジネスパーソンになりましょう。

羽生田 慶介

Hanyuda Keisuke

担当科目 ▶経済連携協定(FTA·EPA)と経営戦略

イノベーターたちの逆境に立ち向かうストレスマネジメント

日常における心理社会的ストレスは、心身に影響を及ぼし、様々な症状を誘発することが知られています。仕事をしていく上で、日々予期せぬ出来事やハプニングに遭遇しながらもイノベーターたちは高い目的に向かっていかなくてはなりません。逆境の中、自己のもつ能力を最大限に発揮する手段にストレスマネジメントがあります。本講座では、心理学・行動科学・心身医学を交え、平常心を養い、ストレスを力に変えるノウハウを実践的に養うと共に、組織向上に向けて、対人関係ストレス対処法とメンタルヘルス、社員との信頼関係構築とモチベーションについて学びを深めます。

水木 さとみ

Mizuki Satomi

担当科目 > ストレスマネシメントと精神回復

法政大学社会学部卒業、各種心理療法を修得し、横浜市立大学医学部口腔外科学講座、同精神医学講座、東京医科歯科大学頭頸部心身医学講座にて心理療法を実践。医学博士の学位を授与。東京医科歯科大学頭頸部心身医学講座臨床講師を経て、心理学・行動科学・心身医学に基づく実践的な研修・講演を数多く全国的に普及している。





中国ビジネスの現場最新事例をもとに、これからの日本企業やビジネスマンの「勝ち方」を考え抜く

中国は日本の最大貿易相手。訪日中国人観光客ももうすぐ1000万人を超える。中国の旺盛な消費力は日本企業にとってますます重要だ。 その中国では、次の時代に向かって、5Gやスマホ決済、そしてドローン、無人店舗、無人運転等々、AIやITの最新技術が幅広く応用され、日本を飛び越えて進んでいる分野が増えている。この授業は、中国の社会や文化、経済の背景から説明、分析しながら、中国ビジネスの「実践知」を伝えたいが、留学生と日本のビジネスマンが中国ビジネスの極意を語り合う「場」としても定着しつつある。皆様ので参加をお待ちしています。

徐 向東

Xu Xiangdong

31

担当科目 ▶日本企業の中国ビジネス

CM-RC.com (株) 中国市場戦略研究所代表。北京外国語大学講師を経て文部省奨学金で来日し博士号取得。中央大学と専修大学・講師、日経リサーチ首席研究員、キャストコンサルティング (株) 代表取締役、ジェトロのコーディネートなどを歴任。主な著書は『中国人にネットで売る』(東洋経済新報社2011)、『中国人に売る時代!巨大市場開拓の成功法則』(日本経済新聞出版社2009)等。

再武装"の接点を提供する講師陣の幅広いバックグラウンド

多摩大学大学院の講師陣は、それぞれが多様で豊富なバックグラウンドを 有しています。こうした講師陣との出会い、すなわち日本や世界を支える知との 出会いがみなさんをお待ちしています。

- |シンクタンク・ソフィアバンク
- バテル記念研究所
- KIRO株式会社
- ▶株式会社インサイトリンク
- フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社
- ▮ デロイトトーマツ コンサルティング合同会社
- | マッキンゼー・アンド・カンパニー
- 【ボストンコンサルティンググループ
- I A.T. カーニー
- アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社
- ■株式会社野村総合研究所
- ▮株式会社日本総合研究所
- ■株式会社三菱総合研究所

- ▮株式会社アンテカニス
- ▶株式会社アゲラコンサルティング
- ■株式会社パーソル総合研究所
- HRBC株式会社
- ▶株式会社ビジネス・ブレークスルー
- ▮株式会社船井総合研究所
- ▮株式会社中国市場戦略研究所
- リソウル株式会社
- ■丸の内ブランドフォーラム
- 株式会社大前・アンド・アソシエーツ
- ネットキャピタル・パートナーズ株式会社

株式会計青山財産ネットワークス

- ┃株式会社ジェイフィール
- ▮キヤノン株式会社
 - ■アサヒビール株式会社

日産自動車株式会社

▶本田技研工業株式会社

▼花王株式会社

■アウディジャパン株式会社

- ■フォード・ジャパン・リミテッド
- 株式会社日立製作所 ■日本板硝子株式会社
- ■富士ゼロックス株式会社 オムロン株式会社

メーカー

- 国分グループ本社株式会社
- ■三菱マテリアル株式会社 ■富士電機株式会社
 - ■株式会社マーレフィルター システムズ
 - I日本IBM株式会社
 - パナソニック株式会社

ビジネス

金融

▮トランスコスモス株式会社 ▶株式会社構造計画研究所 株式会社カヤック 株式会社博報堂 ▶株式会社フジテレビジョン ICT·情報 ■読売新聞社 日本放送協会 時事通信社

コンサルティング

日本銀行

株式会社電通

日本経済新聞社

▶株式会社みずほ銀行

▮株式会社三井住友銀行

日本マイクロソフト株式会社 【データセクション株式会社

■ゴールドマン・サックス 証券株式会社

東京海上日動 火災保険株式会社

▮あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社

■共栄火災海上保険株式会社

【ソロモン・ブラザーズ・ 【株式会社 アジア証券会社

■バークレイズ・キャピタル 証券株式会社

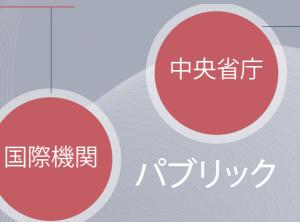
■ 株式会社シンプレクス・ ファイナンシャル・ホールディングス 三菱UFJ銀行

■国際連合世界食糧計画本部 **■**パシフィックフォーラムCSIS

【在欧日系ビジネス協議会 (於ブラッセル)

■IEC (国際電気標準会議) TC111議長、 ISO TC 268/SC1議長、 ISO TC207エキスパート

■国際交流基金



■衆議院議員 ■経済産業省 ■厚生労働省

▮総務省

■厚生労働省独立行政法人評価委員会

■内閣官房参与(科学技術・イノベーション政策担当)

研究機関

第一線で活躍中の講師が多様な知を提供します

サービス他

医療•福祉

非営利

NPO• NGO•団体

特定非営利活動法人

特定非営利活動法人

エドテックグローバル

特定非営利活動法人

日本NPOセンター

日本観光振興協会

東京コミュニティー財団

公益社団法人

公益社団法人

エティック

商

日本航空株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

森ビル株式会社

□公益財団法人日本交通公社

▶株式会社イー・ロジット

株式会社日建設計

株式会社セガホールディングス

▶株式会社小西美術工藝社

株式会社フロンティア インターナショナル

▶株式会社フジテレビジョン

国立大学法人 東京医科歯科大学

国立医療·病院管理研究所

公益社団法人 日本小児科医会

東京都立病院経営委員会

日本医師会病院委員会 日本医療病院管理学会

多摩大学医療・介護ソリューション研究所

公益財団法人医療機器センター

特定非営利活動法人 全国在宅医療推進協会

アストラゼネカ株式会社 日本赤十字社医療センター

多摩大学総合研究所

多摩大学情報社会学研究所 多摩大学ルール形成戦略研究所

多摩大学社会的投資研究所

政策研究大学院大学

学校法人法政大学

独立行政法人経済産業研究所

一般社団法人知識リーダーシップ綜合研究所

公益社団法人

日本観光振興協会総合研究所

農協共済総合研究所

早稲田情報技術研究所

学校法人明治大学野生の科学研究所

社会イノベーションデザイン研究所

一般財団法人日本政策学校

日本女子経営大学院

平成維新の会

株式会社 ビジネス・ブレークスルー

32 33

■三井物産株式会社

●一伊藤忠商事株式会社

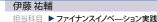
教員紹介

ビジネス各分野で卓越した実績と実務経験をもつ、 類を見ない多彩な実力派講師陣



1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等 を歴任し、現在、一般財団法人日本総合研究所会長のほか、文部科学省、日中韓大学問交流・連携推進会議委員、同省 グローバル人材育成推准事業プログラム委員会委員、同省 大学の国際化の ためのネットワーク形成推進事業プログラム委員会委員、経済産業省 資源エネルギー庁総合資源エネルギー胴査会基本政策分科会委員、国土交通省 国土審議会計画推進部会委員、スーパー・ ガリージョン構想検討会委員等兼任。1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。近著に、『ジェロントロジー宣言 「知の再武装」で100歳人生を生き抜く』(NHK出版新書)、 (寺島実郎監修)全47都道府県幸福度ランキング2018年版』(東洋経済新報社)、『ひとはなぜ戦争をするのか 脳力のレッスンV』(岩波書店)、『ユニオンジャックの矢 大英帝国のネットワーク 戦略『(NHK出版)、その他に、主な書著は、『寺鳥実郎 中東・エネルギー・地政学―全体知への体験的接近』(東洋経済新報社)、『二十世紀と格闘した先人たち― 一九〇〇年 アジア・アメリカ の興降』(新潮社)、『新・観光立国論―モノづくり国家を超えて』(NHK出版)、『何のために働くのか―自分を創る牛き方」(文春新書)、他多数。

企業経営に必要な金融の知識・リスク管理の手法を学ぶ



1976年早稲田大学理工学部数学科卒業、83年同大学大学院理工学研究科後期過程 修了。偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け、89年ソロモン・ブラ ザーズ・アジア証券 (現シティグループ証券) に入社。株式部長、株式デリバティブト ノーダーとして10年間マーケットにかかわる。99年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー 証券(現クレディ・アグリコル証券会社)に移りトレーディングデスクの再構築を行い、 2000年シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。

企業戦略と経営指標 (KPI) の連動を豊富なケーススタディを通じてマスター

大津広一

担当科目 ▶企業分析と経営指標

慶應義塾大学理工学部卒業、米国ロチェスター大学経営学修士。富士銀行、バークレ イズ・キャピタル証券、ベンチャーキャピタルを経て、(株)オオツ・インターナショナル 代表。米国公認会計士、早稲田大学院客員教授。ビジネスリーダーへの会計・財務指 導歴多数。『企業価値を創造する会計指標入門』『ビジネススクールで身につける会計 力と戦略思考力『英語の決算書を読むスキル』他、著書多数。



飛躍の 7 力を具えた「志」あるチェンジ・アーティストを輩出

持つ。現在は企業のアドバイザーとして活躍中である。

荻阪 哲雄

楠田 幸久

士。MBA(多摩大学)。

担当科目 ▶グローバル技術経営論

担当科目 ▶ ライフシフト: 人生の成長戦略

多摩大学大学院でビジョン実践手法を研究して、修士号 (MBA) 取得。警視庁、ベン チャー企業勤務の後、スコラ・コンサルトの創業期に参画。パートナーを経て、2007年 に独立。1万人のリーダーを支えて編み出した、新しい組織開発の独自手法BA (バイン ディング・アプローチ)を体系化し、チェンジ・アーティストを設立。代表に就任。人と組 織の「文化変革」を支援する。2016年、多摩大学 客員教授に就任 「ビジョン・マネジ メント論」開講。著書【成長が「速い人」「遅い人」】【リーダーの言葉が届かない10の理 由】【社員参謀】【結束力の強化書】

Winning Women Network のメンバーとして、女性経営者のサポートを行った経験を



理論と実務のフィードバック、往復運動を目指して

小野里 光博

旦当科目 ▶ファイナンスイノベーション基礎

東京大学工学部都市工学科都市計画コース卒業。デベロッパー、シンクタンク勤務を 経て、現在、(株)東京商品取引所執行役(営業部、広報部、国際部、システム部、システ ム開発室、市場構造研究所、新市場開拓部担当)、JAPAN OTC FXCHANGE 株式会社 代表取締役計長。一級建築士(1982年)。



キャリア開発力を身につけ、未来を切り拓く! 片岡 裕司

担当科目 ▶キャリアマネジメントとモチベーション

アサヒビール株式会社、同社関連会社でのコンサルティング部門を経て独立。現在は (株)ジェイフィール取締役、(株)f&kプラクティス代表取締役。人事・人材開発領域を 中心とし、組織開発プロジェクトやマネージャー向けのトレーニングをコアに、特に現 在はキャリア開発力強化を軸とした組織風土改革に取り組む。著書に『何とかしたい ベテラン社員」がイキイキ動き出すマネジメント』『週イチ・30分の習慣でよみがえ る職場』(共に日本経済新聞出版)。多摩大学大学院にてMBA取得。

関西学院大学大学院理学研究科修了。日本板硝子株式会社、富士ゼロックス株式会社

にて新規半導体デバイス、新商品の研究開発・生産に従事。技術者および事業統括者

としての両方の立場から新製品を世に送り出す業務を担当してきた。海外経験から、

グローバル環境化での事業およびイノベーションに対して強い興味を持つ。理学博



現役起業家社長と実践的な戦略物流経営を討論しましょう!

角井亮一 当当科目 ▶ 最新ロジスティクス戦略

1968年(昭和43年)10月25日生まれ。上智大学経済学部経済学科(田中利見ゼミ)を3年で単位 取得終了し、渡米。ゴールデンゲート大学からマーケティング専攻でMBA取得。帰国後、船井総 合研究所に入社。その後不動産会社を経て、家業の物流会社、光輝グループに入社。光輝グルー プでは、日本初のゲインシェアリング (成功報酬型アウトソーシング、東証一部企業) を達成する。 2000年2月14日、株式会社イー・ロジット設立、代表取締役に就任する。イー・ロジットは、現在300 計から通販物流を受託する国内NO1の通販専門物流代行会社であり、物流人材教育研修や物 流コンサルティングを行う会社。また、タイでは、SHIPPOPなど設立。著書は日米中韓台で26冊。



戦略 PR を学び、コミュニケーション力を強化する

久保山 路子 当科目 ▶戦略 PR マーケティング

早稲田大学教育学部卒、認知心理学専攻。花王(株)入社。マーケティング部門で幅広 い実績を積む。商品広報部長、センター長を歴任。いち早くインフルエンサーマーケ Fィングの手法を取り入れ戦略PRを実践した。現在、生活者研究部コミュニケーション



組織に変革を起こすリーダーシップを実例で学びます

グローバル化の中で事業&イノベーションを考える!

迫川史康 旦当科目 ▶ケーススタディ 組織を動かす変革型リーダーシップ論

関西学院大学経営戦略研究科 (MBA) 修了。外資系製薬会社アストラゼネカ株式会 社の営業(MR)としてキャリアをスタートし、同社人財開発マネージャーを経て現在、 HRBC株式会社代表取締役。企業内研修においてリーダーシップ論、組織開発論、チェ ノジ・マネジメントの実績多数。日本を代表する大手企業から中堅・中小企業まで幅広



34

強いブランドを構築できるブランドマネージャーに必須スキルを学ぶ

佐野 扶美枝

当科目 ▶ 商品ブランドマネジメント

筑波大学大学院医科学研究科修了。花王入社後研究部門、商品開発部門を経て、事業 部門で20年以上、主に化粧品のマーケテイングを担当。スキンケア、メイクアップ商品 など多くのブランドを発売、育成してきた。現在はオハヨー乳業株式会社マーケテイン グ戦略本部副本部長。食と健康の商品づくりに取り組んでいる。



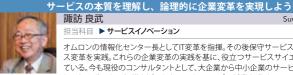
新村 和大 旦当科目 ▶ベンチャーCFO養成講座

京都大学経済学部経営学科卒業、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。 ボストン発の起業家育成コミュニティStartup Leadership Programの日本代表を 務める。それまで様々た業界のベンチャー企業で経営に参画。(オンライン革会話。 Adtech、Edtech等)。2013年、株式会社Socketの最高財務責任者に就任。2015年9 月に同社をM&AによりKDDIグループのSyn.ホールディングスに統合。創業期ベン チャーでの経営戦略の策定、事業モデルの構築、財務関連業務を強みとする。

組織と働く人のプロフェッショナルのための理論と実務を融合

担当科目 ▶組織行動とリーダーシップ

法政大学大学院政策創造学科博士後期課程満期退学。これからの企業人事責任者の 在り方を研究する機関の立ち上げ、事務局長を経て、雇用キャリア政策を提言する研 究所を立ち上げ・従事する。現在は社団法人を立ち上げ組織におけるサイレントマイ ノリティの活かし方・活躍に向けた提言活動を行っている。



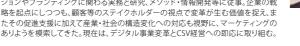
諏訪 良武

価値を高めて豊かになる」リックテレコム社。

価値を起点に、マーケティングの力で新しい時代の BtoB 事業を育む 德永 朗

担当科目 ▶ BtoB マーケティング

東京大学教養学部教養学科卒業、早稲田大学ビジネススクール修了。㈱電通、㈱博報 堂ブランドコンサルティング、㈱博報堂で、企業・事業課題の解決に資するコミュニケー ションやブランディングに関わる実務と研究、メソッド・情報開発等に従事。企業の戦 略を記点にしつつも、顧客等のステイクホルダーの視点で変革が生む価値を捉え、ま たその促進支援に加えて産業・社会の構造変化への対応も視野に、マーケティングの





中山 こずゑ

担当科目 ▶ 観光インバウンドマネジメント

慶應義塾大学大学院社会学科修士課程修了後、日産自動車(株)に入社。中長期商品 戦略、市場情報室、企画統括部長を経て、グローバルブランド副本部長時代には電気 自動車リーフのネーミングをまとめる。その後、現横浜市長からの強い要望で横浜市 文化観光局長として文化観光行政を統括し、就任前比で観光実人員及び観光消費額 を約2倍とする。2018年より(株)横浜国際平和会議場(通称パシフィコ横浜)の代表取 締役社長。アジアOnly 1, No.1の知的ハブとしてインバウンドの拡大、イノベーション を起こす場づくりとしてのMICE施設のあり方を模索中。



I 織を変革していくリーダーシップと技術を育成します

浜田 正幸

担当科目 ▶ 実践組織変革

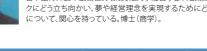
多摩大学大学院・多摩大学経営情報学部教授、経営コンサルタント。大学院で心理学 を研究の後、(株)本田技術研究所で自動車レースの最高峰F1プロジェクト参画、(株) -----野村総合研究所にて人事・組織系の経営コンサルタント。その後ベンチャー企業を数 社創業・立上げ。2006年より現職。



リスクマネジメントは、あなたの夢をかなえるもの 樋渡 淳二

旦当科目 ▶夢をかなえる実践リスクマネジメント

日本銀行に長年勤務後、大東文化大学経営学部に勤務。個人や金融機関・企業がリス クにどう立ち向かい、夢や経営理念を実現するためにどのようなことをすればよいか について、関心を持っている。博士(商学)。





実践経験を共有しながら、戦略策定手法を学び、戦略構築を考える 前川慶一

担当科目 ▶経営戦略概論

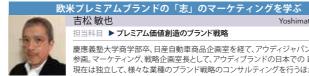
東京大学工学部卒。日産自動車にて、パワートレーン設計、人事、経営企画、商品戦略、 プログラムマネジメント等を担当。2013年よりマーレフィルターシステムズ、2018年よ ノマーレジャパン 執行役員。



ウェルビーイング」について共に考えてみませんか? 三田 真美

担当科目 ▶実践ポジティブ心理学

慶應義塾大学文学部卒。同大学院政策メディア研究科修士課程修了。外資系コンサ ルティング会社を経て、日経BP社などで、経営誌記者、書籍編集に携わり、起業やイノ ーションから教育、女性問題まで、幅広いジャンルの書籍を企画・編集する。近年は、 ポジティブ心理学や行動科学の書籍を数多く手がけ、ビジネスパーソン向けに独自 のジャーナリング (筆記) ワークショップも行う。認定ポジティブ心理学プラクティショ



吉松 敏也

担当科目 ▶ プレミアム価値創造のブランド戦略

慶應義塾大学商学部卒、日産自動車商品企画室を経て、アウディジャパンに設立から 参画。マーケティング、戦略企画室長として、アウディブランドの日本での 躍進に貢献。 現在は独立して、様々な業種のブランド戦略のコンサルティングを行うほか、丸の内ブ ランドフォーラムのディレクターも務める。



担当科目 ▶サービスイノベーション

オトロンの情報化センター長とL.アIT変革を指揮。その後保守サービス会社のサービ ス変革を実践。これらの企業変革の実践を基に、役立つサービスサイエンスを提唱し ている。今も現役のコンサルタントとして、大企業から中小企業のサービス変革を支援 しており、生々しい知識を活用したワークショップで授業を進めている。著書「顧客は サービスを買っている」ダイヤモンド社、「いちばんシンプルな問題解決の方法」ダイ ヤモンド社、「サービスサイエンスによる顧客共創型ITビジネス」翔泳社、「サービスの

ファイナンス理論と経営戦略・企業価値創造の融合 Nakaoka Hidetaka

中岡 英降

担当科目 ▶ M&A 戦略と実践企業ファイナンス

東京大学理学部物理学科卒業、筑波大学博士(経営学)。首都大学東京戦略研究セン ター教授(兼)大学院社会科学研究科教授を経て、多摩大学大学院客員教授。伊藤忠 商事にて、エネルギー開発部長、伊藤忠石油開発取締役、Ras Laffan LNG社取締役、日 本サハリンパイプライン調査企画取締役、原燃輸送取締役、カタール・ジョイント・ファ イナンス代表取締役社長などを歴任、元伊藤忠石油開発CIO・CCO。

日本の流通構造を理解し SCM を考える力を養成します

西田 邦生

担当科目 ▶日本の流通構造と SCM のメガトレンド 早稲田大学政治経済学部卒、国分(株)で経営統括室部長、取締役グループ企業統括

本部長、廣屋国分(株)代表取締役社長、中国駐在を歴任。元早稲田大学アジア太平 洋研究センター特別研究員。現職は(株)ジャパン・インフォレックス代表取締役計長。 (社)流通問題研究協会理事を兼務。

図解思考という万能の武器で「考える力」を養う

久恒 啓一 担当科目 ▶インサイトコミュニケーション

九州大学法学部卒。日本航空(株)において労務・広報・経営革新に携わった後、早期 退職し97年新設の宮城大学事業構想学部教授に就任。08年より多摩大学教授。12年 より経営情報学部長。15年より多摩大学副学長。著書はベストセラーになった『図で 考える人は仕事ができる』(日経)、『図解で身につく!ドラッカーの理論』(中経の文庫)、 『偉人の命日366名言集』(日本地域社会研究所)、『100年人生の生き方死に方』(さく

事業承継について習熟し、日本を支える中小企業の価値を創造する 藤本 江里子

ら舎) など100冊を超える。詳細は、図解Web:http://www.hisatune.net/参照。

担当科目 ▶中小企業の価値創造と事業承継

税理士・中小企業診断士・ライター。立命館大学文学部卒業。立命館大学大学院にて 法学修士を取得。都市銀行、会計事務所、コンサルティング会社を経て、現在は中小企 業のあらゆる悩みに応えるためのコンサルティングや執筆活動を行う。得意分野は、 事業承継、組織再編成、M&A、公益法人等の会計・税務など。

経営の舵取りに必須の金融とファイナンスの極意を伝授します

真壁 昭夫

担当科目 ▶ 行動経済学、マネジリアル・アカウンティング

1953年神奈川県生まれ。一橋大学商学部卒業後、第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。 ロンドン大学経営学部大学院卒業後、メリル・リンチ社ニューヨーク本社出向。みずほ総 研主席研究員、信州大学経済学部教授などを経て、2017年4月から現職。著書は「下流 にならない生き方」「行動ファイナンスの実践」「はじめての金融工学」など多数。

コンタクトセンターの経営活用は、経営人材にとって必須知識です 宮﨑 義文

担当科目 ▶経営視点からのコンタクトセンターの活用



Mita Mami

日本アイ・ビー・エムにて、日本初のテレホンバンキングの構築をはじめ、約20年に 渡り金融・通信・製造・流涌の各業界で、多くのCRM/コンタクトセンターのプロジェク トをリード。ICT開発・ソリューション営業・コンサルティングと幅広い職務経験を活か し、どうしたら「経営に貢献するコンタトセンター」を創ることができるかをテーマに先 進のコンタクトセンター実務者を中心に2010年から情報処理学会にコンタクトセン ターフォーラムを立上げ、現在も研究活動を推進中。

プロの記者からコミュニケーションの神髄を学びます

国際ジャーナリスト。The Daily Yomiuri (現The Japan News) 記者を経て、現在は時

事诵信、NHKワールドTV記者であると同時に、The Indian Institute of Journalism &

New Mediaでは講師として、マルチメディアジャーナリズム、記事の書き方から編集

まで、メディアに関する科目を担当。「The Asahi Evening News」をはじめ英国「The

担当科目 ▶ Business Communication for Global Leaders

Faculty

21 世紀はグローバル大志及び動的な指導力と漸進的管理スタイルを持つ会社の時代である アニルッド・マッリク

担当科目 ▶ Business in Globalized India - The Japan Perspective

アゲラコンサルティング社長兼最高経営責任者。IT産業をはじめ、教育産業などの幅 広い分野での経営管理経験をベースに、パートナーと協力して、アゲラコンサルティン グを設立。13年以上にわたり、国際ビジネスに携わり、人事部をはじめ、能力開発・メン タリング、技術・インフラ、情報セキュリティ、業務プロセス・ディプロイ、組織内コミュニ ケーション、ブランディング・マーケティング・PRなどの経営全般のコンサルティングに 従事。インド・プネー市、東京などで、各種ナレッジシェアリング・キャリアガイダンスに 積極的に参加し、小規模の会社設立のサポートも行っている。

モノづくり経営は知識だけではムリ。現場感覚も大切。 柿内 幸夫 Kakiuchi Yukio



東京工業大学工学部経営工学科卒。日産自動車(株)に入社。国内外の工場における 生産性向上業務を歴任、スタンフォード大学修士課程修了、慶応大学博士課程修了、 著書『K Z法工場改善』『現場改善』など。日本経営工学会経営システム賞受賞。工学博 十、技術十(経営工学)。経済産業省先進技術マイスター(平成29年度)。

人口減少社会における地域経営と働き方をデザインします 川井真

担当科目 ▶ 高齢社会のまちづくり

Kawai Makoto

一般社団法人JA共済総合研究所 主席研究員、シダックスグループ(シダックス株式 会社) 社外取締役、明治大学社会イノベーション・デザイン研究所 所長、明治大学研 究・知財戦略機構 客員研究員、明治大学自動運転社会総合研究所ステアリングコミッ Fィ・メンバー等を兼務。食、エネルギー、そして地域包括ケアをキー概念として、新し い公共システムと地域経済セクターの創造的再生を進めている。専門は公共リスクマ ネジメント論・死生学。現在、全国在宅医療推進協会監事、MINS治験審査委員会理事、 ふるさとテレビ顧問等も務める。

ソーシャル・イノベーションを可能にするファイナンスを考える! 小林 立明



担当科目 >ソーシャル・ファイナンス

東京大学教養学部卒業、ペンシルヴァニア大学NPO指導者育成修士課程修了。国際交 流基金、日本財団、ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員等を経て、現在、学習院大学 国際センター准教授、ソーシャル・ファイナンス研究会代表。2018年より多摩大学社会 的投資研究所研究員を兼任。専門領域は、戦略的グラント・メイキング、社会的インパ クト評価、ソーシャル・ファイナンス、NPOマネジメント等。主要著書に、「フィランソロピーのニューフロンティア」(翻訳)、「英国チャリティ:その変容と日本への示唆」(共著)、 「スモールマート革命」(共訳)等。

]"のデジタル化こそが社会の変革を引き起こす原動力



担当科目 ▶ DX 変革: AI/Watson に学ぶ知のデジタル化の実践知

慶應義塾大学経済学部卒業。専門はインフォメーションマネジメント分野、特に構造・ 非構造データの活用に向けたアーキテクチャ策定とデータガバナンスの運用モデル の構築手法。日本IBMのコンサルティング・グループにおいて、IBM Watson TM を中心 としたコグニティブ技術、ビッグデータ関連のコンピテンシーリーダーとして、先進的 なテクノロジーを活用したプロジェクト、および産学連携によるプロジェクトの推進と 社内外の人材育成に従事。

自らの「志」に目覚め、社会変革を起こす社会起業家を育成します 田中 勇一



旧当科目 ▶ ソーシャルビジネス演習

京都大学理学部数学科卒。米国カーネギーメロン大学にて MBA 取得。大学卒業後、 住友銀行(現三井住友銀行)に入行。留学や起業支援を経て、新銀行東京設立プロジェ クトに草創期より参画し、人事部門の責任者として銀行立ち上げに大きく貢献。現在 は、リソウル(株)を設立し、人事コンサルティング、起業支援、転職支援等に取り組む。 2010年4月には「社会起業大学」を設立し、社会起業家育成にも従事し、これまで400 名以上の社会起業家を輩出。

参加者の動機付けに注目したプロジェクトマネジメントを目指して 中分毅 Nakawake Takeru



旦当科目 ▶ プロジェクトマネジメントの基本と応用

京都大学工学部卒、筑波大学大学院修了。世界でもTOP5に入る日建設計にて、都市 開発や建築プロジェクトの企画、プロジェクトマネジメント、マーケティングに従事。 2015年1月より同社副社長。最近は日本の得意分野であるTOD (Transit Oriented Development:鉄道志向の都市開発)の海外展開に注力している。

デジタル時代の創造的マーケティング手法研究と能力開発



当科目 ▶ 先端 IT マーケティングイノベーション

起業家としてビッグデータの分析ソリューションのデータセクション株式会社を創業 .15年目に東証マザーズに上場させた。ITイノベーションの創造と実践を研究。デジ タルハリウッド大学教授・図書館長。早稲田情報技術研究所取締役。著書に『データサ イエンティスト』『情報力』『Web時代の羅針盤 213冊』『ブックビジネス2.0』『新・データ ベースメディア戦略』などがある。

ヘルスケアビジネスで住み続けられるまちづくりを実現しましょう

石井 富美

東京理科大学理学部卒、多摩大学大学院経営情報学専攻科修了(MBA)

担当科目 ▶ 地域包括ケアのビジネスモデル

民間企業でソフトウェア開発のSFとして勤務した後に医療企業分野に転身し、医療情報システ ム室、経営企画室長、事務次長、企画部長などを歴任、新規事業の企画とプロジェクトマネジメ ントを得意としている。現在はヘルスケアビジネス経営人材育成研究所長として、医療介護事 業の経営サポート、経営人材育成活動、企業向け医療ビジネスセミナーなどを行っている。関 西学院大学大学院「地域医療経営」を担当するほか、複数の都市のまちづくり事業のアドバイ ザーなども務めている。2019年に多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長に就任。

今求められる地域事業創造とは何か?共に考えていきましょう。

亀井 省吾 担当科目 ▶実践事業創造

産業技術大学院大学産業技術研究科 特任教授、博士(学術)。中央大学大学院総合政 策研科博士後期課程修了、東京海上火災保険(株)、ベンチャーキャピタル代表等を経 て現職。中小ベンチャー企業、ソーシャルインパクト情報と事業アーキテクチャ研究に 従事。著書『障碍者雇用と企業の持続的成長:事業における「活用」と「探索」の考察』 学文社(人を大切にする経営学会 2017年研究奨励図書部門最優秀賞受賞)など。

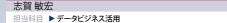
世界の潮流を踏まえ、アジア戦略、インバウンド戦略、組織・人事を考える。 金美徳 Kim Mitoki



担当科目 ▶世界潮流と企業戦略、インターゼミ(寺島実郎学長ゼミ) I~IV、フィールドスタディI~IV

1962年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院国際経営学修士・国際関係学博士課程修 。(株)三井物産戦略研究所、三井グループ韓国グローバル経営戦略研究委員会委 員を経て、多摩大学 経営情報学部教授・同大学院経営情報学研究科教授・アクティブ ニングヤンター長。専門は、国際経営学・国際関係学。著書『キャンパスアジア共 通教科書:これからの日中韓経済学』など18冊、論文・論考100本、三井物産向け戦略レ ポート100本、講演100件など。

世界を、新しい目で見ることがイノベーション。イノベーションの扉を開こう。





東京大学教養学部基礎科学科卒業。日立製作所にて「半導体撮像素子による家庭用 ビデオカメラの電子回路設計」、三菱総合研究所にて「電機・自動車業界等の事業構造 再構築・新事業コンサルテーション」に携わる。専門は、イノベーション、セレンディピ ティ。著書『イノベーションの創発プロセス研究』(文眞堂)、監訳『技術とイノベーション の戦略的マネジメント』C・M・クリステンセン他(翔泳社)。主論文『セレンディピティの 構造研究:偶然と必然の相互作用』。博士(技術経営、東京理科大学 伊丹敬之研究室)

超高齢化社会を迎える今、医療介護組織に成長戦略を定着させましょう。



担当科目 ▶医療・介護の成長戦略

多摩大学大学院MBA・中小企業診断士・技術士。1968年ソニー入社。事業本部経営企 画担当、子会社を設立し管理部門総括、ウォークマン工場取締役、ソニー本社で世界 初のリチウムイオンの牛産に携わり、95年独立。企業や医療・介護組織を支援。97年よ JJQA審査員。著書「経営基本戦略の展開」、「経営改善と経営革新」他。ブランドとデザ インを軸にした戦略提案で、幅広い業種でコンサルティングを実施している。

質的データ分析からの実践知考察



担当科目 ▶サービスサイエンス

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科専攻博士前期課程修了。立教大学経営学 部兼任講師。2000年よりトランスコスモス株式会社にて、金融、メーカー、通信など多 数のお客さま企業からのアウトソーシングを受け、カスタマーサービス領域の業務分 析、オペレーション設計、顧客の声分析(テキストマイニング)等に従事した。現在は、 同社や他企業、団体において、日常業務に役立つビジネススキル研修プログラムの設 計、登壇や、課題発見・解決のためのミーティングのファシリテーションを担当する。

人と人をつなぎ、化学反応を起こす地域のコンシェルジュ。つなぐ力がキーワード。



担当科目 ▶街づくり最前線

法政大学大学院社会学研究科卒業。多摩中央信用金庫(現多摩信用金庫)入庫。価値 創造事業部部長、地域連携支援部長、融資部部長。2010年多摩市·多摩信用金庫·多 摩大学の三者による「冬摩市創業支援事業連携協定」締結をはじめ、冬摩地域の市町 村や大学・高専等との地域連携の責任者。首都大学東京客員教授。公益社団法人日本 フィランソロピー協会理事。多摩CBネットワーク世話人。Facebookグループ「多摩エリ アにいこう」管理人。2018年より、多摩大学総合研究所客員教授、2019年より多摩大学 教授(多摩信用金庫より出向)。

今、アジア次世代経営人材が求められている。一緒に応えよう!



担当科目 ▶論文演習

中国・内干ンゴル自治区生まれ。東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修 ア、同博士課程単位取得満期退学(学術博士)。(株)三井物産戦略研究所を経て多摩大学経営情 報学部教授・同大学院教授・国際交流センター長。専門は、中国・大中華圏マクロ経済、東アジブ 国際関係、モンゴル近現代史、主た茅書は、三井物産戦略研究所『アジアを見る眼』(共同通信社 2012年、共著)、『東アジアの経済協力と共通利益』(2016年2月、ふくろう出版、共著)、『東アジア教 養人のための日中韓経済論』(2017年2月、ふくろ出版、共著)、『これからの日中韓経済学』(2018 年2月、えにし書房、共著)、『内モンゴル近現代史研究』(多摩大学出版会、2019年、単著)他。

経済行動に潜む原理を解き明かす経済学の新潮流を紹介

濵田 隆道



1950年東京都生まれ。1975年3月東京大学経済学部卒業。同年4月通商産業省入省。 経済産業省大臣官房審議官(産業技術担当)を経て、現在、株式会社東京商品取引所 取締役代表執行役社長。

解のない時代における企業変革を担う

森祐之

担当科目 ▶DX 変革:顧客起点のトランスフォーメーション実践知

北海道大学経済学部卒業。専門はテクノロジーによる企業変革。現在、日本IBM 戦略コ ンサルティンググループにて技術戦略コンサルティングをリード。テクノロジー進化と ともに企業変革のあり方を進化させ続け、経営意思決定の高度化、グローバル統合化 等の取り組みを実践。近年は、デジタル技術時代における、ユーザー体験のデザイン から始まるスモールスタートの変革アプローチを、幅広い業界において推進している。

担当科目 ▶ビジネスジャパニーズ |・||

慶應義塾大学経済学部卒。キリンホールディングス(株)入社、人事部研修、情報システム部、経理部財務担当、国際カンパニーを経て、現在フリーの翻訳、通訳をしている。

ビジネスコミュニケーションツールとして、日本の歴史・地理を深堀する

日本語で自分の考えを積極的に述べられるようになろう



瀧川 浩人 担当科目 ▶留学生のためのビジネス日本地理・日本史基礎 |・||

國學院大學文学部卒業。専門は、神道史学。代々木ゼミナール入職。進路アドバイザーとして、首都圏高 等学校で入試情報分析をもとに講演活動を展開。1994年より、代々木ゼミナール社会科講師を兼務。多 数の受験生を難関校合格へ導く一助を担う傍ら、日本レクリエーション協会公認インストラクターとし て、学校教育のレクリエーション指導、旅行会社の新人教育を担当。2004年に多摩大学入職。グロー ルスタディーズ学部設置準備に関わり、新設学部立ち上げに従事。現職は、多摩大学大学院事務課長。

下井 直毅

担当科目 ▶問題解決学|・||

マーク・オースティン

Independent」紙にも寄稿。イギリス出身。

東京大学経済学部卒。東京大学大学院経済学研究科博士課程へ進学後、日本経済国 際共同研究センター研究機関研究員、日本学術振興会特別研究員を経て、現在は、多 摩大学経営情報学部教授。専攻は日本経済論、国際経済学。主な著書は「マクロ経済 学/ミクロ経済学パーフェクトマスター」(日本評論社、共著)、「日本の空を問う-なぜ 世界から取り残されるのか」(日本経済新聞社、共著)など。

ビジネスジャパニーズを通じて人生設計をしてみませんか。

何が問題で、どういう解決手段があるのかを抽出できる人材育成



担当科目 ▶論文スタートアップ |・||

中国の吉林省に生まれ、大学を卒業後に大手建材メーカーLIXILに就職、2013年に来 日。2014年4月に多摩大学大学院に入学、大学院時代から医療コーディネーター/通 訳として活動、お客様(患者様)の笑顔を見て医療ツーリズムがとてもやりがいのある 仕事だと感じて、修了と同時に医游株式会社を設立。

【ルール形成戦略】フィールド ―

日本で唯一、 多摩大学大学院で学べる ルール形成戦略の教授陣

国際的ルール形成を目指した科技外交の展開で、世界のリーダーシップを



角南篤

担当科目 ▶ルール形成戦略研究所特別講義 政策研究大学院大学 副学長く学 付> Ph.D.(コロンピア大学)く専門分野> 科学・産業技術政策論 公共政策論 科学技術と外交く

現在の研究対象> 国家(地域)イノベーション・システムの比較研究、科学技術と国家、科学技術外交、科学技術政策の政治分析1988年、 -ジタウン大学School of Foreign Senice卒業、89年株式会社野村総合研究所政策研究部研究員、92年コロンビア大学国際関係・行政 t学院Reader、93年同大学国際関係学修士、97年英サセックス大学科学政策研究所(SPRU)TAGSフェロー、2001年コロンビア大学政治学 博士号(Ph.D.)取得。2001年から2003年まで独立行政法人経済産業研究所フェロー。2003年政策研究大学院大学助教授、2014年教授、学 長補佐、2015年11月より内閣府参与(科学技術・イノベーション研第担当)2016年4月より副学長に就任(理在に至る)、その他、文部科学省 科学技術・学術審議会委員、外務省科学技術外交推進会議委員、内閣府総合科学技術・イノベーション会議基本計画専門調査会委員、等。

こんな社会を創りたい、その構想と意志が新しい競争力です 藤井 敏彦



担当科目 ▶ ルール形成戦略研究所特別講義

独立行政法人経済産業研究所 コンサルティングフェロー経済産業省 経済産業省製造産業局審議官(前 防衛装備庁長官官房審議官、経済産業省通商政策局 通商政策課長)1987年東京大学経済学部卒業、1994 年 ワシントン大学にてMBA取得。2000年在欧日系ビジネス協議会(於ブラッセル)事務局長、対EUロビイス トとして活動、帰国後、慶應大学法科大学院客昌講師(FU法)、埼玉大学大学院経済科学研究科客昌教授等 (企業と公共政策)を経て現職。日本の対EUロビイストの草分けであるとともにWTOなど世界的ルールメイ と日本のCSR』(日科技連出版社)、『EUのガバナンスと政策形成』(共著、慶應義塾大学出版会)などがある。

混迷するこの時代に、メディアの機能とは。 岡田 宏記



担当科目 ▶ルール形成のためのメディア戦略

フジテレビジョン 報道局 プロデューサー。早稲田大学政治経済学部卒業。日産自動車・広 報室を経て、フジテレビジョン入社。自民党記者クラブ等を経て、数多くの報道番組・ドキュ メンタリー番組を制作。フジテレビ初のドキュメンタリー映画「HARUKO」は光州国際映画 祭に正式招待され、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞受賞。特別番組「名門に生ま れるということ~市川海老蔵、宿命と苦悩の物語~」は国際エミー賞芸術番組部門でノミ ネート、ニューヨーク・フェスティバル芸術部門金賞受賞。DVD作品「アシュリーと生きて〜 短い命を刻む少女・7年間の記録~」は厚生労働省・特別推薦児童福祉文化財に選定。

甘利明 多摩大学 ルール形成戦略研究所 シニアフェロー

Ichikawa Yoshiaki

37

小選挙区 (神奈川県第十三区) 選出、自由民主党。1949年神奈川県厚木市に生る、 慶應義塾大学法学部政治学科卒業。ソニー(株)、衆議院議員甘利正秘書を経て 1983年衆議院選挙へ立候補。通商産業政務次官、衆議院商工委員長、労働大臣、 党筆頭副幹事長、衆議院予算委員長、経済産業大臣(三期)、内閣府特命担当大臣 (規制改革担当)、行政改革担当大臣、公務員制度改革担当大臣、党政務調査会長

等を経て、経済再生担当大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、内閣府特命担当大

臣(経済財政政策)2008月永年在職議員として衆議院より表彰される。当選11回。



福田 峰之 Fukuda Mineyuki 担当科目 ▶政治内部の視点に基づく議院内閣制度における公的ルール形成プロセス

元衆議院議員 前内閣府副大臣 前内閣府大臣補佐官。1964年生まれ。横浜市会議員を2期務めた後、活動の場を国政に 移す。現在衆議院議員3期目。2015年3月にマイナンバー制度担当の内閣府大臣補佐官に就任。自民党IT戦略特命委員会 事務局長としてサイバーセキュリティ基本法の制定をはじめ内閣サイバーセキュリティセンターの立ち上げを推進。また エネルギー安全保障分野では資源エネルギー戦略調査会・水素社会推進委員会事務局長として水素政策の推進をリー ドレてきており、水素政策に世界で最も精通している政治家として様々な国際会議に招聘され、国際水素議員連盟の創 設にも取り組んでいる。2015年7月、アジアで日本が果たすべき新たな役割とインフラ輸出戦略を安全保障経済政策と いう視点から議員連盟「米国リバランス下におけるアジア太平洋地域での日本の新たな役割に関する研究会」を設立。

日本が世界に貢献しうる、外交・安全保障政策とは。 井形 彬



担当科目 ▶安全保障経済政策論|·||

EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング シニア政策アナリスト、パシフィック・ フォーラムCSIS Adjunct Fellow。国際基督教大学(ICU)教養学部卒業。コロンビア大 学大学院政治学研究科修士課程修了。ジョージタウン大学交換留学生、ケンブリッジ 大学客員研究員、平和・安全保障研究所・安全保障研究奨学プログラム牛、日本再建イ ニシアティブ・リサーチャー、Pacific Forum CSIS・SPFフェロー、国際安全保障学会総務 委員補佐など、国内外のアカデミア・シンクタンク・コンサルティングで研究活動に従 事。専門は、東アジアの国際政治、日米関係、冷戦後日本の外交・安全保障政策。

ルールは新たな市場を作るための最適な道具である 市川芳明



Okada Hiroki

担当科目 ▶ルール形成戦略研究所特別講義

日立製作所社会イノベーション協創統括本部 チーフアーキテクト室長。1979年東京 大学工学部機械工学科卒業。日立製作所入社後、原子力の保全技術及びロボティク

ス分野の研究に従事。1995年より環境保全分野のソリューションビジネスを立ち上げ る。2000年初代の環境ソリューションセンタ長を経て、現職、知的財産本部国際標準化 推進室主管技師長、東京都市大学環境学部客員教授も兼任。IEC(国際電気標準会議) 「C111議長、ISO TC 268/SC1議長、ISO TC207エキスパート、CENELEC(欧州電気標準 委員会)オブザーバー、工学博士、技術士(情報工学)

実践志向の濃密な2年間が 強靭な実践知と得がたい絆を育む

村上聖 2015年4月入学/2017年3月修了 株式会社日山畜産 代表取締役 X 武内 利枝 2005年4月入学/2007年3月修了 株式会社JPI(日本計画研究所) 代表取締役社長 小林等 2015年9月入学/2017年9月修了 株式会社ジェイティービー 経営企画室

村上聖 武内利枝





~修了生座談会 ~

現実を変革する熱い志を抱き、2年間にわたってイノベーターシップを鍛え抜いた修了生たち。彼らのたどった軌跡には、実社会の問題に直面し、その本質的解決を求める人にとって、重要な手がかりに満ちていることでしょう。多摩大学大学院を選んだ理由、そして、そこで手にしたものとは。実践知を生かして活躍する3人の修了生に語っていただきました。

三様の視点で浮かび上がる "なぜ、多摩大学大学院か"

武内: みなさん、それぞれの問題意識をもって、多摩大学大学院の扉を叩かれたかと思います。まずは「どうして多摩大学大学院を選んだのか」という振り返りを軸に、お互いのバックグラウンドを話してみませんか。

小林:そうですね。私のターニングポイントは2012年にさかのぼります。温めていたビジネスプランが、社内の新規事業アイデアコンテストに合格し、実現させようという運びになりました。入社以来、営業一本で勤めてきた私にとって、事業開発は未踏の世界。構想はあっても、実現する手法が全く分かりません。大きな壁にぶつかり、解決するすべを模索する中で、浮かび上がったのが多摩大学大学院でした。

村上:私の場合は、父親から会社を引き継ぐ ことになり、経営の舵取りに深く悩んだ時期が ありました。経営状態も良好とはいえず、企業 再生の糸口をつかみたい一心でさまざまなビジ ネススクールを当たりましたが、中でも強く惹 かれたのが多摩大学大学院だったのです。

武内: お二人とも、ビジネスのクリティカル な問題を抱えていたということですね。しか し、数あるビジネススクールの中で、どうし て多摩大学大学院を選んだのでしょうか。私 自身でいいますと、入学を強く薦めてくれる 人が身近にいました。先代社長であり、多摩 大学大学院の修了生でもある父親です。しば しば田坂先生の話を聞かされ、「仕事」に対する深い叡智をお持ちだと知って、実際に師事してみたいと思いました。

村上: ビジネスの第一線で活躍する先生が数 多くいらっしゃることは、大きな魅力に違い ありません。アカデミックな知識だけでなく、ビジネスの経験に基づいた実践知を得られること。それが多摩大学大学院を選んだ決め手のひとつです。

小林:多摩大学大学院に入学する前、短い期間ですが、別のビジネススクールを経験したことがありました。そこでは院生が大人数のため、発表の機会が少なく、満足に質問することもできませんでした。その点、多摩大学大学院の少人数制は、大きなメリットだと思いましたわ

武内: 品川の街も大きく発展してきました。 国土交通省が新たな国土形成構想「スーパーメガリージョン」を打ち出し、東京、大阪、 名古屋の三大都市を中心に全国をつなぐとの こと。その最重要結節点である品川にキャン パスがあることは、今後、より大きな意味を もってくるのではないでしょうか。

熱い志から生まれる関係性 その価値を見つめ直す

村上:顧みると、改めて濃密な2年間だったと 思います。講義を通して「会社とは何か、経 営者とは何か」ということについて、とこと ん考え抜きました。

小林:ビジネススキルや、学問的知識を磨く 場は他にもあるかもしれません。しかし、 「志」を厳しく見つめ直す経験が得られるの

は、多摩大学大学院ならではでないでしょうか。入学当初は、ある教授からずいぶん鍛えられました。「本当に成し遂げたいことは何なのか」という問いをもらい、悩みに悩んだことが強く印象に残っています。

村上:自分が現在進行形で抱えている課題が、そのまま講義のケーススタディとして取り上げられる。講義で得たものを会社にフィードバックし、そこで生まれた新たな課題をまた講義で共有する。その繰り返しでしたね。扱う題材があまりにリアルなので、真剣にならざるを得ない(笑)。

武内:アウトプットの力は、格段に伸びると 思います。先生や学友と交える議論もそうです んだ経験は、私にとって替えがたい財産です。 小林: 同感です。私も生涯の遺産を残す、というくらいの意気込みで臨みました。入学半年後の時点からテーマを考えはじめ、実際に

が、実践知の総仕上げである修士論文に取り組

ビジネスとして実践しながら、並行して論文 も書き進めるというスタイルでしたね。それ はもう大変な時期を過ごしました(笑)。し かし、学びと実践がリンクして、本質に迫っていく体験こそが、多摩大学大学院の醍醐味 なのではと思います。

武内:論文テーマの設定からはじまり、仮説の立て方や研究の進め方など、先生方には本当にきめ細かく指導してもらいました。長期にわたる執筆中には、「この方向性でよいのか」と不安になる瞬間がたびたび訪れるものです。先生方が丁寧なアドバイスをくれ、道を指し示してくれなければ、とても達成できたとは思えません。

村上: それこそ、少人数制のメリットですよね。 先生との距離が近く、とことん付き合ってくれる。 質問や課題の確認をお願いすると、 おそろしく迅速にレスポンスが頂けるので、 いったい、 いつお休みになっているのか

心配になったくらいです。

小林: 実務家の先生は、で自身のビジネスも 抱えていらっしゃるはずなのに、舌を巻きま すね。しかし、せっかく多摩大学大学院にい るのだから、先生方には思う存分お世話にな る、といったくらいの心意気でよいのかもし れません。

村上:修了後も、さまざまなビジネス上のアドバイスを頂いている先生がいますが、私のことを人に紹介する際は、「授業をジャックしていた」とおっしゃいます(笑)。講義で食らいついていけば、ちゃんと応えてくれて、長く目をかけてくれる先生がいるというのはうれしいものです。

武内:本当にそうですね。修了して10年が経ちますが、私もいまだに先生とのつながりがあり、著書の所感をメールしては、その返信として新たな考え方やヒントをもらうことがあります。また、先生だけでなく横のつながりも貴重です。ただの学友で終わるのではなく、ビジネスを共にしたり、研究会を立ち上げたり、修了後も継続していく関係、広がるネットワークが多摩大学大学院の魅力なのだと実感しています。



在学生から

| イノベーターシップを磨いている仲間たち



株式会社NTTデータ 開発担当部署 課長 原田 桂樹

2019年4月入学

知のバックグラウンドの獲得に向けた思考錬磨の日々。 本質的な価値を構想するために 骨太な知のバックグラウンドを自身の幹として作りたい、ビジネス環境の変化の中でミドルレイヤにある自身に自然発生した想いです。不確実である時代において、いかに社会的価値のあるビジネスを構想するのか、想いと自身のギャップの解消のため、自身のアップグレードを意識した際、紺野登教授の著書『構想力の方法論』と出逢い、多摩大学大学院の知識創造やイノベーターシップの理念に触れ、当大学院での学びを決意しました。多数の講義科目が当大学院にありますが、実際に受講し感じるのは各講義に一連の理念が通底しているということです。それぞれの講師の専門分野における知の集積とともに、社会的価値をいかに作るのか、共通善を志向するインテグリティがあり、学びをより深くしています。現実課題の解決や時代認識の更新、価値ある構想の着想を意識し、実践知の豊富な講師とさまざまなバックボーンを持つ仲間と思考錬磨する日々は、非常に充実しています。



医療法人社団 佳伸会 栗山眼科クリニック 栗山 ほなみ 2019年4月入学

これまでの経験を決して無駄にしない、 学びを通じて新たな可能性へのアプローチを実践中 私は元々専業主婦でした。子育でにひと段落が付き、現在は夫の経営するクリニックに関わっています。さまざまな問題に直面する度に、それぞれの専門家に聞いたり自分で調べたりしましたが、その知識が自分に備わっていたら、と感じることが多くなりました。そんな折、田坂教授の"すぐにでも使える実践的なビジネスの学び"の記事が目にとまり感銘を受け、入学を決意しました。少々恥ずかしい思いもしますが、自分の成長のために励む毎日です。また、教授や先輩方、そして同期の院生は、尊敬できる方ばかりで、新鮮で充実した日々を送っています。現在、女性の社会進出を阻む家庭内労働の価値観に問題意識を感じており、病院経営に関する学びをしながら、新たなビジネスプランを考案中です。今後どのようなビジネスプランが考案できるか楽しみです。



Tigerspike株式会社 代表執行役員 根岸慶 2019年4月入学

翌日には実務をアップデートできる。 それくらい、先端かつ本質的な知を学ぶことができる大学院

常に創造の最先端にいることが価値の源泉である企業の舵取りをしています。そのような企業では組織も戦略も常にアップデートさせ続ける必要がありますが、理論も実践も不足していると感じていました。そんな中、先端の組織論を調べていた際に何度か多摩大学大学院の講師陣の推敲した記事に遭遇したことをキッカケに紺野登教授の体験授業を受け、入学を決めました。巷で最先端と言われている組織論のさらに先を行く内容を、10年以上前に発表されていたことに衝撃を受けたからです。授業はどれも先端な内容が多いのですが、共通することは、ただ先端なだけでなく「本質的」な点です。企業の存在意義や変革のリーダーシップ、資本主義の未来など、人間の本質を掘り下げないと答えの出ない問いに基づいた授業構成になっているため、実戦ですぐに役立つとともに、ブレない軸が徐々に出来上がってきていることを、日々実感しています。



EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社パートナー 吉田 英司 2019年4月入学

知識社会を生き抜くためには「知の再武装」が最重要、 そう実感します

昨年の夏、これまでに得た知識と経験を頼りにするリーダー像に疑問を持ち、さらなる成長を実感したいという気持ちで多摩大学大学院を受験しました。まさに、寺島学長が言われる「中年の危機」に陥り、「知の再武装」の必要性を感じた瞬間です。知識社会と言われる現代において、GAFA、BATが20世紀にはないビジネスモデルで約500兆円もの時価総額を誇るなか、企業は利益を追求するだけでなく、全人的存在として社会的存在意義を誇示する必要があります。大学院では、豊富な実務経験を有する教授陣から時代に即したイノベーション、ビジネスモデル、情報技術、リーダーシップなど、著しい環境変化の中で生き抜くために必須な知識を教えていただけます。私が最初に受けた授業は、アップル社元CEOのスティーブ・ジョブズ氏のリーダーシップに関するものでしたが、伝説の卒業式スピーチにある「Stay hungry、Stay foolish」を忘れることなく、自己実現に向け着実に歩んでいきたいと思います。

■ スケジュール例

		平	日 (講義あり)		週	末(講義なし)
(>	7:00	起床・シャワー	0	7:00	起床
(5		夜の講義準備 回授業の復習)	0	8:00	スポーツジム
(\	8:30	出勤(電車)	0		シャワー・朝食 復習・読書
(>	9:00	仕事		10.30	
				O	12:30	昼食
				þ	13:30	長男の野球(部活)観戦
(•	18:00	移動(電車)			
(5	18:30	講義			
				þ	17:00	夕食準備(趣味の料理)
	7	21:45	帰宅(電車)	þ	18:30	入浴
		22:15	夕食•入浴	0	19:00	夕食
(5	23:30	読書	þ	21:00	読書
	>	00:30	就寝	0	23:30	就寝



田辺三菱製薬株式会社 所長 矢山幸子 2019年4月入学

謙虚に学ぶことができる環境で、守・破・離を実践し、 自らをイノベーションする

Alの導入、デジタル化、バイオベンチャーとの提携など、製薬企業を取り巻く事業環境は変化する中、過渡期を迎えた製薬企業は新たなビジネスモデルが必要となっています。管理職に求められる能力も単なる経験豊富なプレイヤーに基づくリーダーシップではなく、環境変化を先取りした変革を推進するイノベーターシップであることを痛感しています。そんな中、営業所長を拝命し、まずは基盤となる経営全般に関する知識習得と実践力が必要であると考え、超実学志向MBAである当大学院で学ぶことを決意しました。講師陣は実務経験豊かな専門家でカリキュラムも多く、講義は少人数制で講師とインタラクティブであるため一回の講義で得られるものは多岐にわたります。また院生仲間は多職種かつ多様性に富んでおり、留学生も多いことから仲間からも刺激を受けつつ研鑽し続けることができ、大学院に通うだけで豊富な"知"が得られることを実感しています。

■ スケジュール例

平日(講義なし)	週 末 (講義あり)
6:00 起床	○ 6:30 起床
7:30 移動(営業車)	8:00 移動(電車) 通学時間はスマホで新聞チェック。
● 8:00 仕事 ▶待ち時間はスマホで新聞チェック。 講義で学んだことをできるだけ仕事で即実践。	9:00 講義 ▶ 平日は夜の仕事が多く受講できないため、 週末に2コマ続けて受講。
20:00 帰宅	● 17:00 帰宅 ▶講義で学んだことを仕事にどう活かすか考え、 スマホにメモ。
○ 20:30 夕食 ▶知を養うために"カンブリア宮殿"や"ブロフェッショナル仕事の流儀"を好んで見る。 パートナーに学びを口に出すことで理解を 深める。	● 18:00 夕食 ▶復習はその日のうちに… 受講仲間と食事に行くことも!
23:00 入浴	23:00 入浴
00:00 就寝	00:00 就寝

Message

修了生から

イノベーターシップを実現している修了生たち



株式会社リクルートメディカルキャリア 代表取締役 長尾 吉祐 2006年4月入学 2008年3月修了

リクルートに新卒で入社し、様々な職種、仕事を経験し、自分自身の今後のキャ リアについて考えている時期でした。当時36歳のことです。ビジネスの実践現場 でがむしゃらに走ってきたので、これまでの知識・経験をアカデミックな視点から 棚卸し、今後のキャリアの方向性をじつくり考える必要性を感じていました。

複数の候補の中から、本大学院を選択した理由は三つ。MBAというトータルマ ネジメントの知識を整理、向上させられること。イノベーションについての理論と 実践の教授陣が充実していたこと。そして「志塾」というコンセプトに魅力を感じ ました。マネジメントのスキルを向上させるとともに、経営者として、人間としての 「志」について深く考えられる場があるのが、この多摩大学大学院でした。

充実した2年間でしたし、たくさんの同志、仲間との出会いもあり、今、この大学 院に戻り医療領域のマネジメントについて学び直しています。学びに終わりはあ りません。さらに社会人になってからの学びという「場」における教授、仲間との ネットワークは、現在もそして生涯の貴重な財産になっていくと確信しています。



株式会社 Pont D'or 代表

青山美恵子 2013年4月入学 2015年3月修了

社会起業家カリキュラムがあり入学を決意しました。田坂先生からは「起こる ことすべて良きこと」と学びました。ビジネスはPDCAの繰り返し、スピーディーか つ柔軟に実務実行、そして何よりも志を貫くために徹底的に悩み・考えることが 大切です。全てにおいて決断が事業に反映されるので、自身のさまざまな人格が 出てきていると感じます。

また、「全ては『縁』である」と教えていただきました。起業する前も今も、たくさ んのご縁をいただき事業を進めていけていると思っています。自分自身がどうし てもやり遂げたいこと、解決したいことのために興すビジネスや事業であれば、 応援してもらえる環境がこの大学院にはあると思います。





実学と実践に裏付けられた講義が自分の支えとなり、自己を具現化出来た

テルモ株式会社 財務部 部長代理

杉田 浩 2007年4月入学 2009年3月修了

私が多摩大学大学院に入学を決めたのは、今後の自分の身の処し方に漠とし た不安を抱え帰国した欧州駐在直後のことでした。実践実行遂行型の自分に自信 を与えてくれる何かを求め入学を決意しました。そんな暗中模索の自分に自信と 将来への道しるべを提供してくれたのが本大学院でした。講義は各分野での実務

したことを今でも覚えています。今でこそ花盛りの「イノベーション」ですが、当時 の多くの講義の中で一つの大きなテーマとして既に語られていましたし、いかに してイノベーションを起こしイノベーターになるかは多くの院生たちの目標とも なっていました。そういう意味でも当時から先駆的な大学院であったと思います 経験豊富かつ自己を実現されている先生方ばかりで行われ、共感と感動で身震い し、そんな場所を見つけることができたからこそ今の自分があると思っています。

病院長に求められる経営スキルを体系的に獲得

社会医療法人敬和会 大分岡病院 院長

立川洋─ 2013年9月入学 2015年9月修了

現在の医療を取り巻く外部環境から病院経営は困難に直面しており、医経分離は必然 になってきました。その様な中、ヘルスケア領域を中心に経営全般を学ぶ必要性に駆ら れて多摩大学大学院に進学しました。専門的な医療経営はもちろん、組織マネジメントや マーケティングなど経営に必要な知識を体系的に学ぶことができました。医師としての思 考法とは全く異なる視座があることを知り、自分を成長させる糧になりました。このような

成果は、すばらしい先生方のご指導、同僚や先輩、後輩との人脈を通じての刺激が影響し ています。まさに、「井の中の蛙、大海を知り、ひっくりカエル」状態から、「刺激を受けて飛び 跳ね回るカエル」状態に進化した2年間でした。難関の医療経営十1級を取得できたことは 本大学院で学んたからこそと感謝しています。先般、病院長を拝命しました。これからがま さに2年間の修練が生かされる時であり、更なる成長に向けて志を新たにしています。

"実学"を学ぶことで、根本課題を考えられるように

株式会社ファンケル 人事部 人事企画グループ課長 遠藤 理央 2012年4月入学 2014年3月修了

志を抱いて入社してくる社員の期待を裏切りたくない。その想いから入学 を決めました。革新を遂げるためには"根本課題"を突き止めることが重要。そ のためには"机上の空論"ではなく、実際に現場で課題解決を実践した方々の 経験や理論が欠かせません。ここでは、実業界出身の教授陣から教えていた だく"実学"を通して、根本原因・根本課題の発見のみならず解決までの道程を

一緒に導き出していくことができます。徳岡先生の「カルチャーベースマネジ メント」「論文ゼミ」などは大変参考になりました。ここで学ぶことによって会社 でしばしば課題を発見し、『なぜその課題が生じているのか』という"背景"や "歴史""企業文化"を考えられるようになりました。

人生観の変わる学びの場 ~自分の人生を主体的に生きていく力が身につく~

サントリー酒類株式会社 企画課

篠 雄太郎 2015年9月入学 2017年9月修了

入学を決めた当時酒類メーカーの営業マンとして小売チェーン本部を担当してお りました。入社以来10年間現場の最前線で仕事をする中で商品サイクルの短命化、 EC業態の台頭といった環境の変化を肌で感じこれからは"主体的に変化を起こす力" が必要だと痛感させられました。そんな折、多摩大学大学院のイノベーターシップの コンセプトと出会い、共感し入学を決意致しました。多摩大学大学院での実務に精通 した経験豊富な教授陣による"生きた講義"での学びは全てが刺激的でビジネスマン としてだけでなく一人の人間として大きく視野が広がり人生観が変わりました。また、 修十論文作成の過程でのトライ&エラーにより実際のビジネスでも役立つ『ビジョン 構想力』『課題設定力』『問題解決力』を徹底的に磨く事ができました。多摩大学大学 院での二年間を通じて出会えた恩師、苦楽を分かち合った仲間は一生の財産です。

体系化した経験知を、実戦に活かす

DCMホールディングス株式会社 総務・人事統括部 人事部マネージャー

山本 晃史 2011年4月入学 2013年3月修了

私が入学したのは、東日本大震災の直後。日本人の礼節、忍耐、絆が世界か ら称賛を得る一方で、"想定外"の事態に直面した組織、リーダーのジレンマが 浮き彫りになった年でした。

そのような中、教科書的にではなく、自身の経験知、暗黙知を体系的に整理 し、正解の無い解を見出し、実戦で活かすことで、持論(自論)に昇華させるとい

う多摩大学大学院の学びのスタイルは、企業人としての仕事のスタンスの みならず、人としての生き方を考える上でも、大きな刺激となりました。 学びを修士論文化するプロセスも含め、綺麗にまとめることより"自分らし さ"という軸で、地に足をつけ変革を実践する"イノベーターシップ"の大切さ を体得できた2年間となりました。



グローカルに知を学ぶ

~イノベーションの世界的第一人者と学ぶ~

幅広い世界が認めるイノベーターから、実用的なビジネススキルを学び、未来を創造するための理論と思想の体得を目指します。

多摩大学大学院グローバルフェロー アレックス・オスターワルダー氏

アレクサンダー・オスターワルダー博士は、世界的ベストセラー『ビジネスモデル・ジェネレーション』の主著者であり、起業 家、講演者としても活躍している。戦略マネジメントとイノベーションのためのツールやコンテンツに特化したソフトウェア 会社「Strategyzer」を共同設立。オスターワルダー博士が開発したビジネスモデル構築ツール「ビジネスモデル・キャンバス」 は、コカ・コーラ、GE、P&G、マスターカード、エリクソン、レゴ、3Mといった企業が採用している。



「ビジネスモデルキャンバス」の共同開発者 多摩大学大学院グローバルフェロー イヴ・ピニュール氏

1984年よりローザンヌ大学教授。ジョージア州立大学、ブリティッシュコロンビア大学、シン ガポール国立大学、モントリオール商科大学で客員教授を務める。ベルギー・ナミュール大 学で博士号を取得。学術誌『Systèmes d'Information & Management』の前編集長。世界 的ベストセラー『ビジネスモデル・ジェネレーション』の共著者。ビジョナリー、ゲームチェン ジャー、チャレンジャーたちのための指南書であるこの本は、30ヶ国語に翻訳されている。



アレックス・オスターワルダー氏とイヴ・ピニュール氏が、経営思想界のアカデミー 賞と言われる"Thinker50" (2015年) において15位に選出されました。戦略部門の アワードも同時受賞という快挙です。



多摩大学大学院グローバルフェロー クリスター・ヴィンダル=リッツシリウス氏 (カオスパイロット校長兼CEO) デイビッド・ストークホルム氏 (プログラムディレクター)

カオスパイロット(Kaos Pilot)はリーダーシップとアントレプレナー シップのためのデンマークのハイブリッド・デザインスクール。多くの メディアにも採り上げられており、多摩大学大学院はじめ国外でもプ ロフェッショナルプログラムを提供している。根底には、表層的な手 法やプロセスではない、混沌とした時代を創造的に生きるためのデ ザイン思考メソッドがあり、体験的プログラムを特徴としている。



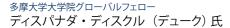
多摩大学大学院グローバルフェロー マックス・マキューン氏

コンサルタント。英国王立芸術協会フェロー。ウォーリック・ビジネス・ スクールでMBAとPh.D.を取得。「カスタマー・サービス・ホール・オブ・ フェーム(顧客サービスの殿堂)」に選出された他、パーソナル・トゥディ 誌の「ヒューマン・リソースのスター」としてノミネートされた。大小様々 な企業での経験をもとに、戦略、イノベーション、リーダーシップ、チー ハビルディングなどについて、コンサルティング、講演、執筆活動を行う 傍ら、イギリス国内外のラジオやテレビ、新聞などでも活躍している。



多摩大学大学院グローバルフェロー マイケル・スペンサー氏

エデュケーター、ファシリテーター、ヴァイオリン奏者 上野学園大学 音楽学部音楽学科 客員教授 音楽文化研究センター客員研究員 元 ロンドン交響楽団ヴァイオリン奏者、元英ロイヤル・オペラ・ハウス 教育部長。現在、Sound Strategies 経営責任者。スペインで唯一自主 運営をしているバレス交響楽団 (バルセロナ) にて、教育プログラム と経営方針の特別顧問を終める。世界各地で芸術教育プログラムを 開発・実践し、さまざまな芸術体や企業から高い評価を受ける。日本 でも社団法人日本オーケストラ連盟・文化庁後援により、24各地で 教育プログラムを実施。2006のプロオーケストラと年皇后陛下ご臨 席のもと、紀尾井ホールにてワークショップ型コンサート開催。2008 年には、教育ディレターを務めた『ピーターと狼』がアカデミー賞(短 編アニメ部門)を受賞した。近年では、英国免疫学会の依頼を受け、 科学者と芸術家、地域コミュニティーとの共生を目的とした芸術プロ グラムを英国各地にて制作・実践しており、NHK-BS『旅のチカラ』で も活動内が紹介された。Japan Festival in London 2012 大会会長も 務めた。





タイ、ラオス、ミャンマーの国境地帯 は以前は世界の麻薬の大半を生産 する黄金の三角地帯と言われた無法 地帯であり、ケシの栽培で森林は荒 れ果て少数山岳民族は搾取されて いた。その荒涼な地域を有数の観光 地に変え、住民が自立できる経済と 社会に変革したNGOドイトン・プロ ジェクトを率いるリーダーが、社会イ ノベーションの実践知を伝授します。



多摩大学大学院グローバルフェロ-エマニュエル・ミリア・ マンクラ氏

ケニアのマサイ族として生まれ、一族の様々な危機的状況を変化へ のチャレンジと捉え、マサイ文化への理解を強化しながら、マサイ 族のタブー(新規ビジネス、教育改革等)に挑戦してきた真のマサイ リーダーと呼ばれる人物。自身の経験や伝統的マサイの知恵を現 代社会のリーダーに伝えるワークショップを世界中で展開中。日本 でもリーダーシップの原点を語ります。

リーダーシップを超えるイノベーターシップの養成

~大企業・ベンチャーコミュニティの第一線管理者・経営者層を対象とした特別プログラム~

VUCAなグローバルビジネス環境に向かって、『理想とする未来を構築し、実践する力』を参加者間のディープなディスカッションを交え、身につけます。

品川塾 ~イノベーション・エコシステムの創造拠点~

「品川塾」は、品川にキャンパスを構える多摩大学大学院が触媒 となり、品川エリアに集まるイノベーション志向の企業や個人 のネットワークを支援する試みです。国内外の著名スピーカに よる講演やワークショップなど通じ都市に根ざしたイノベーショ ン・エコシステムと新たなコネクションを創造していきます。

<2017年実績>

- ・イヴ・ピニュール氏講演&討論会 「成功するオープンイノベーションとビジネスモデル 」
- マイケル・スペンサー氏講演 「音楽の世界からみたファシリテーション」
- 品川塾 都市イノベーションサーキット
- 「品川を女性管理職50%の都市にするために、エリアができるコトとは?」
- •都市未来会議 「地域の個性を磨く場づくりを通して考える都市のイノベーション」

<2018年実績>

- ・品川女性活躍ランチミーティング
- •中分毅講演
- 「VUCAの時代のプロジェクトマネジメント~PM研究会発足に向けて~」
- ・ビジネスモデル構想力~「構想力の方法論」出版記念ワークショップ
- ・品川エリアダイバーシティ推進研究会 「女性活躍をエリアの視点で実現するには」







45

JBMC(ジャパン・ビジネスモデル・コンペティション)

~世界最大級のビジネスプランコンテスト IBMC の公式日本大会~



JAPAN



JBMC (ジャパン・ビジネスモデル・コンペティション) は、世界最大のリーンスタートアップ 式ビジネスプランコンテストであるIBMC(インターナショナル・ビジネスモデル・コンペ ティション)が日本で唯一認めるオフィシャル大会です。IBMCには、日本を含めアメリカ、 ヨーロッパ、アジアにまたがる主要な大学、大学院、博士過程の学生ら約6,000チームが 参加し、スタートアッププランの世界一を目指します。一般的なビジネスプランコンテス トのような、アイデアのユニークさや分析と数字による事業計画の完成度を競うのとは一 線を画し、世界標準のリーンスタートアップ・メソッドとツール(ビジネスモデル・キャンバ ス) に基づき、アントレプレナーとして成功するための必須スキルである仮説検証力や顧 客発見力を中心に評価する、起業に直結するビジネスプランコンテストです。世界を変え るスタートアップを起こしたい起業家志望の方には、自分を成長させ投資家の注目も集め られる絶好の機会に。さらに、JBMC優勝チームには、世界一の栄冠をめぐってアメリカで 開催されるIBMC決勝戦へ日本代表として参戦できる優勝特典が与えられます。

日本ニュービジネス協議会

「ニッポン新事業創出大賞・支援部門」で最優秀賞受賞!

入学試験について

アドミッションポリシー

経営の現場・現実に根ざした高度な経営専門知識および創造的問題解決能力の修得と錬 成に、強い意欲と学習能力を有する人。

「何のための理論か」「何に役立つ知識なのか」を常に追求し、これまでの経験の振り返り と新たな知の吸収により、新たな時代認識のもとで、「知の再武装」を行う覚悟がある人。

現実を転換しようとする熱い思いとしたたかな実践知を養い、イノベーションを起こし ていく、挑戦するリーダーとして社会に貢献することを志す人。

■出願資格

民間企業・官公庁等に在職し、入学時現在3年以上の実務経験を有している職業人を優先し、下記のいずれかに該当する者。

- 1. 大学を卒業した者。または、本大学院において大学を卒業したと同等以上の学力があると認めた者。
- 2. 学校教育法(昭和22年法律第26条)第68条の2第3項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- 3. 外国において学校教育における15年の課程を修了した者。
- 4. 文部科学大臣の指定した者。
- 5. 外国人留学生においては、日本語能力試験 (JLPT) N1取得者もしくは日本留学試験 (EJU) 330点以上かそれ同等以上の力がある者。
- 注1: 左記資格を入学の前までに有するこ ととなる見込みの者を含む。
- 注2:1.の「本大学院において大学を卒業し たと同等以上の学力があると認めた 者。」の資格で出願しようとする者は、 あらかじめ出願受付の2週間前まで に照会すること。

■修士課程入学試験(2020年4月入学)

1. 募集人員

40名

2. 出願期間と面接試験日

出願期間:2019年10月1日(火)~2020年2月25日(火)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
出願 締切日	2019年 10月28日(月)	2019年 11月25日(月)	2019年 12月16日(月)	2020年 1月27日(月)	2020年 2月25日(火)
面接日		出願書類提	是出後、調整い	たします。	

3. 面接試験会場

多摩大学大学院 品川サテライト(品川駅港南口徒歩1分) 東京都港区港南2-14-14 品川インターシティフロント5階

4. 選考方法

出願書類試験と面接試験の総合評価により判定いたします。 面接試験時間は、約30分実施いたします。

留学生のみ面接試験を2回(1次30分・2次30分)実施いたします。

5. 合格発表日

面接審査を実施した後5日以内に合否結果通知を郵便にて発送します。 (電話、メールによる問い合わせには応じられません)

6. 入学手続期間

第1期		第2期	第3期	第4期	第5期
入学 手続 締切日	2019年 11月8日(金)	2019年 12月6日(金)	2019年 12月27日(金)	2020年 2月7日(金)	2020年 3月6日(金)

7. 特待生 (スカラシップ生) 制度

入学手続きをした入学試験での成績優秀者の中から選ばれる特待生(最大5名) に対しては2年間の授業料のうち2分の1相当額(100万円)の学費を免除いたし ます。やむを得ず休学をする場合には特待対象外となり、以後復学した場合には それ以降の授業料については一般院生と同じ50万円となります。

8. 私費留学生対象授業料減免制度

多摩大学私費外国人留学生授業料減免規程に基づき、私費外国人留学生を対象 として、経済的負担を軽減するために、選考(審査)の上、対象と認められた一定 数の私費外国人留学生に対して、年間授業料の3割(30万円)を免除いたします。 (入学後に審査)

■ 学費について (2020年4月入学)

	1年目		2		
2 24 4		授美	美料	合計	
入学金	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
30万円	50万円	50万円	50万円	50万円	230万円

- ※授業料は各学期開始時に50万円納入していただきます。
- ※入学手続時の納入額は、入学金30万円、半期授業料50万円、合計80万円となります。 ※入学試験での成績優秀者の中から選らばれる特待生(スカラシップ生)は、2年間で授業料 が100万円免除となります。(2年間学費総計130万円)

■博士課程入学試験(2020年4月入学)

1. 募集人員

2. 出願期間

2020年1月6日(月)~2月25日(火) 消印有効

3. 選考方法

1)第1次選抜(語学試験・書類審査)

語学試験(英語)と提出された書類の審査に基づいて選抜を行います。 語学試験(英語)[辞書(紙ベース)持込可] ※電子辞書は認めません。 日程:2020年2月29日(土)10:00~11:30(90分) 会場:多摩大学 品川サテライト 集合時刻、会場等の詳細については、受験票と併せて郵便で送付通知します。

2) 第2次選抜(口述試験)

第1次選抜の合格者についてのみ実施します。提出された研究計画書、これ までの研究概要等に基づき、研究分野や職務等に関しての口述試験を行い

口述試験の日程と会場

日程:2020年3月14日(土)10:00~13:00のうち30分

会場: 多摩大学 品川サテライト

開始時刻、会場等の詳細については、第1次試験選抜合格者に郵送で通知します。

4. 合格発表日

第1次選抜の合格者の発表	第2次選抜の合格者の発表
2020年3月2日(月)	2020年3月16日(月)

※選抜結果は、郵便で通知します。なお、第2次選抜の合格者には、 「合格通知書」及び「入学手続要綱」を郵便で送付します。 ※電話による問い合わせには一切応じません。

5. 入学手続期間

2020年3月16日(月)~3月25日(水)

■ 学費について (3年間で修了する場合:2020年4月入学)

1年目			2年目		3年目		
3 24	授業料					合計	
入学金	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
30万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	330万円

※授業料は各学期開始時に50万円納入していただきます。

※入学手続時の納入額は、入学金30万円、半期授業料50万円、合計80万円となります。

■学位称号について

博士(経営情報学)

■修士課程入学試験(2020年9月入学)

1. 募集人員

2. 出願期間

20名

出願開始:2020年4月1日(水)

■ 出願について (修士課程:2020年4月入学)

1. 出願書類

入学志願票及び 受験票・写真票	・本大学院所定の用紙 ・所定事項に記入してください。 ・出願前3カ月以内に撮影した縦4cm・横3cmの写真(2枚)を貼付してください。
最終学歴の成績証明書 及び卒業・修了証明書	・結婚等で改姓され、証明書の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。 ・外国人留学生及び外国の大学等を卒業された場合は、「英文」の証明書を提出してください。
課題エッセイ	・本大学院所定の用紙 ・課題エッセイを本大学院所定の用紙に記入し提出してください。
入学検定料の 振込控(写)	・入学検定料 35,000円 ・銀行振込(出願書類発送までに下記銀行口座に振込手続きを済ませてください) 三菱UFJ銀行 多摩センター支店 普通預金(口座番号) 0693846 名義: 大学院口学校法人 田村学園 理事長 田村嘉浩 (ダイカイケチ ガッカオヴァ 外よカイエア リデオラ 外よラシに) ※いったん納付された入学検定料は、理由にかかわらず返還いたしません。 ※写は、A4 縦型用紙
推薦書(該当者のみ)	・本大学院所定の用紙 ・学士、修士、博士の学位保持者は <u>提出不要です。</u> 不明な場合はお問い合わせください。
外国人留学生は、 右記の書類もあわせて 提出してください。	・日本語学校の出席証明書 ・日本語学校発行推薦状(本大学院所定用紙) ・日本語の能力試験(JLPT)N1を証明するもの(写) もしくは日本留学試験(EJU) の点数を証明するもの(写) ・パスポート(写) ※A4縦型用紙1枚 ・在留カード(写) ※カード表裏をA4縦型用紙1枚 ・住民票

2. 出願書類の提出方法

- 1. 出願書類等は一括して 本大学院所定の封筒に入れ、 簡易書留・速達にて郵送してください。
- 2. 出願書類受理後は 記入事項の変更は認められません。
- 3. 提出された出願書類等は理由にかかわらず
- 返還いたしません。 4. 出願書類の提出先 多摩大学大学院 アドミッションズオフィス 〒108-0075 東京都港区港南2-14-14
- 品川インターシティフロント5階 TEL 03-5769-4170 FAX 03-5769-4173 E-mail tgs@tama.ac.jp
- ※外国語能力試験の資格加点優遇措置について TOEIC、TOEFL、IELTS、実用英語技能検定などの外国語の能力測定等において4技能(読む、書く、聞く、話す)で高い評価を受け ている方については、加点処理を行い、優遇します。加点優遇措置を希望する方は、出願時に証明する書類のコピーをご提出ください。

本学修了課程は、厚生労働大臣より『専門実践教育訓練指定講座』の認定を受けております。 POINT! 専門実践教育訓練給付金について 本子修 「課程は、厚土ガ関大日より『等「J天成教育団川株計日と同時に』 マアル 「本子修 「課程は、厚土ガ関大日より』等「J天成教育団川株計日と同時に」 マアル 「本子修 「課程は、厚土ガ関大日より』 等「J天成教育団川株計日と同時に」 マアル 「本子修 「課程は、厚土ガ関大日より』等「J天成教育団川株計日と同時に

募集要項・入学志願票の入手方法

インターネットで請求してください

メール http://tgs.tama.ac.jp/ tgs@tama.ac.jp Tel.03-5769-4170

多摩大学大学院事務室は、多摩キャンパス (東京都多摩市) にあります。多摩大学大学院の授業は品川サテライトで行います (品川サテライトにも事務室があります)。

学びたい分野を集中的に学びたい方へ 単科生制度

単科生制度とは、大学院に正規に入学をしなくても、所定の手続を経て受講を許可された者(単科 生)が、特定の科目について履修し、単位の認定を受ける制度のことです。

募集要項

■ 募集人数 各科目若干名

民間企業・官公庁等に在職し、入学時現在3年以上の実務経験を有してい る職業人を優先し、下記のいずれかに該当する者。

- 1. 大学を卒業した者。
- 2. 学校教育法(昭和22年法律第26条)第68条の2第3項の規程により大学 評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- 外国において学校教育における15年の課程を修了した者。
- 4. 文部科学大臣の指定した者。
- 5. 本大学院において科目等履修生として適当と認めた者。

■ 出願期限 春学期 2020年3月16日(月) 秋学期 2020年8月24日(月)

書類審査とし、必要に応じて面接を行います。面接を行う場合は時間・場所に ついては別途ご連絡します。審査結果は、結果が出次第発送します。

- 履修期間 春学期(6ヶ月) 秋学期(6ヶ月)
- ■授業料 科目履修料 1科目(2単位) 12万円
- **履修手続期限** 春学期 2020年3月31日(火) 秋学期 2020年9月8日(火)

留学生のためのフォローアップ

大学院留学生の就学をサポート

多摩大学大学院には、中国、台湾、モンゴル、ベトナム、ロシア、イタリア等からの留学生が在籍し学んでいます。そこで、当大学院で は、留学生のためのプレMBA講義(佐藤勝彦特任教授、徐向東客員教授、バートル准教授)の開講や日本での就職を目指す留学生 のための就職ガイダンスや模擬面接の実施、国際性のある非常勤スタッフをカウンセラーとして登用、留学生向けの日本語クラス の設置等、留学生のためのフォローアップ体制を整備し、日本国内就職率100%を目指します。また、留学生の経済的支援として、私 費外国人留学生学費減免制度を導入。選考の上、減免対象留学生と認定されると、年間学費の30%(30万円/年)が免除されます。



多摩大学大学院で世界が広がる

会員相互の成長と親密化を図るために、入学と同時にほぼ全員が同窓会に入会しています。20代から 70代まで幅広い世代が入学してくる本大学院ならではの多様な交流をもつことができます。教授陣を 含め、入学の「期」を超えて続く交流は、今後の人生を支える大切な財産になることでしょう。



47